

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(5 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<u>一般</u> 外国人・社会人
試験科目	哲 学		

(注意:英語及び外国語の読解問題については、今回、辞書類の貸与はありません。)

I 次の2題中、1題のみを選択して解答しなさい。

(1)「歴史」という言葉には、「出来事としての歴史」と「記述としての歴史」の二つの意味があるとされるが、この二つの意味を押さえながら、歴史という現象について論じなさい。

(2)道徳的規範(原理)に関して、動機づけについての内在主義と外在主義の立場を、具体的な道徳哲学思想に言及しつつそれぞれ説明しなさい。また、それぞれの立場の問題点を1つ以上あげなさい。

II 次の(1)から(9)の項目から 3項目だけを選択して、説明しなさい。

(1)「正しい知の愛求とはまさに死の修練である」(プラトン)

(2)不動の動者(アリストテレス)

(3)「矢」のパラドクス(エレアのゼノン)

(4)種差別

(5)R 関係(パーフィット)

(6)二層理論(ヘア)

(7)物自体 Ding an sich

(8)解釈学的循環

(9)パラダイム(クーン)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(5 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<u>一般</u> 外国人・社会人
試験科目	哲 学		

(注意:英語及び外国語の読解問題については、今回、辞書類の貸与はありません。)

Ⅲ 次の英語文を読み、内容を要約しなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(5 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<u>一般</u> ・外国人・社会人
試験科目	哲 学		

(注意:英語及び外国語の読解問題については、今回、辞書類の貸与はありません。)

IV 以下の(1)から(3)の 3 題((1)英語文, (2)フランス語文, (3)ドイツ語文)のうち, 1 題のみを選択し, 設問にしたがって答えなさい。

(1) 次の英語文の①を日本語に全訳した上で, ②の内容を要約しなさい。なお, 冒頭の"the theory"は「心の三部分説」(心は知情意の 3 つの部分もしくは機能からなるという説)を指す。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(5 枚のうち 4 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<u>一般</u> ・外国人・社会人
試験科目	哲 学		

(注意:英語及び外国語の読解問題については、今回、辞書類の賞与はありません。)

(2) 次のフランス語文をすべて日本語に訳しなさい。なお、文中に出てくる "démon" は「神霊」の意で、いわゆるソクラテスの「ダイモーン」(一種の声で、それが現れるときはいつもソクラテスが何か行おうとしているのを制止するものであったとされる)を指している。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(5 枚のうち 5 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<u>一般</u> ・外国人・社会人
試験科目	哲 学		

(注意:英語及び外国語の読解問題については、今回、辞書類の貸与はありません。)

(3) 次のドイツ語文をすべて日本語に訳しなさい。

出典 : Wolfgang Stegmüller, *Hauptströmungen der Gegenwartphilosophie*, Band 1, 7.Aufl. Stuttgart: Alfred Kröner Verlag 1989, S.124(Z.21) -125(Z.2)

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 哲学 記載者氏名 山本英輔, 佐々木拓, 三浦 要

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

I

(1) 【解答例】

「歴史」という言葉には、実際に起こった出来事を指す意味と、その出来事を記述すること、ないしは記述されたものを指す意味があるとされており、ドイツ語では前者は、Geschichte、後者はHistorie という語に対応する。歴史という現象を考察する場合、これらの意味の絡み合いが問題となる。歴史は何らかの出来事が生じることであるが、それらは過ぎ去って現前してないものであるがゆえに、記述されたものがなければ、私たちには知りようがない。しかしまた、その記述は、起こった出来事に基づかなければ、単なる物語、あるいはフィクションにすぎなくなる。この関係は「存在」と「認識」との絡み合いとも言える。何らかの事柄の「存在」がなければ「知」も成立しえないが、「知」がなければ、事柄の「存在」は確定されえないのである。そうすると、この二つの意味のうちどちらかを強調することによって、通常認識論のように、実在論的性格と反実在論的性格といった立場が分かれてくるであろう。すなわち、「出来事としての歴史」を強調すれば、歴史の実在論的性格となり、「記述としての歴史」を強調すれば、歴史の反実在論的性格になる。

20 世紀の後半、アメリカの哲学者、アーサー・ダンターは、『歴史の分析哲学』という著作において、歴史叙述が「物語り文」から成り立っていることに着目し、そこから歴史認識の性格を分析した。物語り文とは、例えば「1618 年に三十年戦争がはじまった」というものであるが、この言明の成り立ちには、複数の出来事を関連づけるコンテクストを導入することで、出来事の変化を時間的に組織化する物語り narrative の行為が潜んでいる。これにより、歴史記述というものが、回顧的で、一定の出来事の連鎖を前提しており（「物語り負荷性」とも言われる）、構築的な性格を持つことが主張される。こうした歴史の物語り論は、歴史現象に関する反実在論的な見方として我が国においても大きな影響を与えた。

けれども、歴史の物語り論に対しては、それが一切を表象に還元してしまう議論であるという批判や、物語り行為のもつ政治性を十分考慮していないなどの批判が出されてきた。私としては、従来の歴史叙述によって排除ないしは抑圧されてきた人々の声なき声の歴史をどのように語り直すかという課題を強く意識する。公文書が不在であることを理由に証言の蓄積を軽視もしくは黙殺し、何らかの負の歴史が存在しなかったかのような言説・行為を正当化するのではなく、むしろ批判するためにも、語り直しという物語り行為の可能性が追求されなければならないと考える。証言（あるいは証言の不在）は、出来事としての歴史に促されての「語り」にはかならず、それはまた私たちの歴史性をも変容させるものであろう。私たちそれぞれが、これまでの歴史的蓄積を含んでいる現実に関与しているのである。そうであるとすれば、証言の客観性をいかに評価するかという課題とともに、「出来事としての歴史」と「記述としての歴史」の絡み合いに、「認識主体（実存）としての歴史性」というカテゴリーがさらに加わってくることが課題として浮かび上がるであろう。

(2) 【出題意図】

道徳的規範がもつ役割、とくに動機づけに関する理解を確認する。採点にあたっては、以下のポイントを押さえているかどうかを基準とする。

1. 道徳的規範には人を動機づける性質があるという点を理解している。
2. 内在主義は道徳的規範自体に動機づけの力が備わり、規範が単独で動機づけを行う点が記されている。
3. 2 について、具体的な思想家の名前と思想内容が記されている（例えばカントの道徳的義務の理解など）。
4. 外在主義においては、道徳的規範はそれ自体として動機づけの力を持たず、他との関係によって人を動機づける点が記されている。
5. 4 について、具体的な思想家の名前と思想内容が記されている（例えばホッブズによる罰への恐れによる動機づけなど）。

II【解答例あるいは出題意図】

（1）「正しい知の愛求とはまさに死の修練である」

プラトンにとって知の愛求とは、純粋な知性としての魂が、欲望や快楽、感覚などの身体的要素に煩わされず自己自身だけを通じて真実在を追求するものである。そのためには、魂を身体から離脱させ、できるだけ純粋に自分だけで生きよう習慣づける「浄化」が必要である。ところで魂の身体からの離脱は「死」と呼ばれている。したがって、その限りで知の愛求は死の修練と言える。

（2）不動の動者（アリストテレス）

つねに存在している運動の始元つまり第一の動者は、第一原因である以上、動かされないものでなければならない。この不動の動者はいかなる可能性にも与らない純粋な現実態であり、しかもそれは運動因としてではなく、他のものが希求する目的因として、すなわち愛されるという仕方では動かす。この永遠純粋な現実態は思惟活動であるがゆえに、不動の動者は神とされる。

（3）「矢」のパラドクス(エレアのゼノン)

①あらゆるものはそれ自身と等しい場を占めているときつねに静止しており、②動いているものはつねに「今(瞬間)」のうちにあり、③今においてあるものはそれ自身と等しい場を占めている。②③から、④動いているものはつねにそれ自身と等しい場を占めている。したがって④①から、⑤動いているものはつねに静止している。ところで、時間は分割不可能な諸々の今からなるので、飛んでいる矢は飛んでいるどのときにおいても止まっている。

（4）種差別

ピーター・シンガーの動物解放論の理解を確認する。1. ピーター・シンガーが提唱した概念であること、2. 適切な理由なしに、動物における苦痛を人間のそれよりも低く見積もってはならないこと、3. 2 が人種差別に類比的な差別であることが踏まえられているかどうかを基準とする。

（5）R 関係（パーフィット）

人格同一性の議論に対するパーフィットの理論の理解を確認する。1. パーフィットが人格同一性の議論に際して提出した概念であること、2. 記憶の連結性と連続性が区別されており、3. R 関係は複数の連結性を介した連続性の確保である点、4. 人格同一性の議論で重要なのは人格の同一性ではなく、単一の R 関係の保持である点をおさえられているかどうかを基準とする。

（6）二層理論（ヘア）

ヘアの功利主義の理解を確認する。1. ヘアが道徳的思考を直観的レベルと批判的レベルに区別した点、2. 直観的レベルでは規則功利主義のように義務論的規則に従い、3. 批判的レベルでは行為功利主義のように功利計算によって正しい行為を判定するという点が踏まえられているかどうかを基準とする。

（7）物自体 Ding an sich

この語が特別の意味で使われるようになったのは、カント哲学以降である。カントの『純粋理性批判』では、物自体とは、感性を必須の要件とする我々の認識の対象とはなり得ないものを意味し、現象の根底にあるもの、現象の根拠になるものと考えられる。しかし我々の認識は物自体によって

触発されて発動されるものであるから、物自体を想定せざるをえない。その後、この概念をめぐるでは、様々な批判的議論が展開されることになった。

(8) 解釈学的循環

解釈にまつわる循環であり、部分は全体から理解されなければならない、また全体は部分から理解されなければならないというものである。現代のハイデガーにおいては、先行理解と解釈との循環として定式化され、「誤り」ではなく人間の存在構造に内在するものと考えられた。さらにガダマーによっても、人間の知の可能性として、先行理解（先入見）の基盤的役割が論じられた。

(9) パラダイム (クーン)

一定の期間、研究者の共同体にモデルとなる問題や解法を提供する一般的に認められた科学的業績のことを指す。クーンは、この概念を用いて、科学の歴史がこれまで考えられてきたような連続的進歩ではなく、断続的転換によって進行すると考えた。彼はまた、「パラダイム」という概念が多義的であるとする批判を受け、「専門学問母型」と言い換えることを提案した。

III【解答例】

真理とは、真理を表示するものと真理性を与えるものの間の関係に存しているとする対応説は、常識的な真理観を明確に表現するものである限りで人を惹き付ける考え方である。日常の経験的文脈では真理にとって基本となるのは、信念や言明がそれ自体の外にある何ものかに関わるものであるという見方である。そして、対応説は真理を完全に一方通行のものとしており、独立した事実が信念の真偽を決定し、信念の側から真理を変更することはありえない。この点で対応説は我々の真理概念の日常的用法と完全に合致しているのである。

しかし、対応説にも難点があり、そのひとつは我々が一旦日常的な経験の領域を離れると対応説はそれほど説得的ではなくなるという点である。例えば「A であるか A でないかのいずれかである」という必然的な真理（排中律）について考えると、この言明に対応する「事実」は見出しがたい。この命題が真であることは、命題と世界の対応関係ではなく、「～か～のいずれか」と「～でない」という論理結合子の意味を明らかにすることで説明される。同じことは倫理的、美的、宗教的な真理に関しても言えるだろう。真理説を考える際に、対応説では説明困難なこのような種類の真理も除外することはできない。

IV

(1)【英語】

①【解答例】

この理論によれば、身体のはたらきは空間における物体の運動である。となると、これらの運動の原因は空間における物体の別の運動であるか、特に人間の事例に当てはまるが、他の種類の推力でなければならない。その方法は永遠に謎のままではあるが、空間における物体の運動ではない心的推力は何らかの方法で筋肉の収縮を引き起こすことができる。意図的に引き金を引く者として人を描写することは、そのような心的推力が彼の指の筋肉の収縮を引き起こしたと述べることである。したがって、「意志」という言葉は、擬似・機械論的な心の理論の言葉である。もし後ろめたさをもたずに「意志」や「意志の作用」という言葉を理論家が使うなら、心は特殊な原因の二次的な領域であるという教条を彼はまるごと受け入れているのだと示すのに更なる証拠は必要ない。それに対応して彼が、身体の実行を心的過程の「表現」だと語るであろうことは予測できる。彼は、「経験」についても饒舌に語るだろう。それは想定上は非物理的なエピソードを示すのに一般に使われる名詞の複数形である。そのようなエピソードは心的劇場の幽霊のような舞台上でなされる影絵のようなものののだが。

②：【出題意図】

心身因果説への批判の理解を確認するためのものである。以下の基準に従って採点する。

1. 他者の意志作用は直接確認できず、推論するしかない点がおさえられている。
2. 1のゆえに、人は他者の行為が意志に基づくかを知り得ず、結果として行為の道徳的評価が不可能である点が記されている。

3. 行為者本人も自らの行為が意志に基づくことを知り得ない点がおさえられている。
4. 3の理由として、意志と行為との関係が謎である以上、その直接的関係は知り得ない点が記されている。
5. 心と身体は別の種類の実体（存在）であり、両者には因果的な移行が認められていない点が言及されていること。

（2）【フランス語】

【出題意図】以下の点を読み取れているかが基準となる。

①ダイモンという形象が魂の構造を作り上げている実在と善への二つの開きの形態を具現している。②アイデアとの類縁性により本性的に卓越している魂は、驚きを通じてその本源的あり方へと回帰することですべてを認識でき、同時にまた魂は、憤りという断絶が魂自身の目的である正義へと魂を送り届けるやいなや、すべてを裁定することができる。③いずれの場合においても、魂は日常の生の営みを停止する。現実存在のこの中断の名称が「スコレー」で、哲学実践の本質的条件を規定するものである。「閑暇」とも「学校」とも訳される「スコレー」は無知であることに満足している生の営みとの断絶である。④哲学もまた、アカデメイアにおいて飛躍するとき、実在に端を発する「驚異」の学校だった。そして、洞窟である国家を離れて実在へと向かうこの迂回は、同時に、哲学者がその言語を共有する囚人たちのもとへと回帰することを含意し、そのようにして哲学者が他の人間と遭遇することが、不正という試練を被ることにつながる。⑤つまり、最初の閑暇は、実在を前にして驚き思考するように我々を導き、第二の閑暇は、悪を前にして憤りを覚え裁定するように我々を駆り立てる。そこには過剰なまでの実在の現前に直面して起こる知性的動揺と、侮辱的なまでの正義の不在を前にして起こる道義的動揺とがある。

（3）【ドイツ語】

【解答例】シェーラーは、自らの最後の著作において、宇宙論的人間学を素描しようと試みる。この人間学は、万物における人間の特別な地位を、生物についての、通常の分類とは異なった、とくに「自然」と「精神」の根源的な区分に対してはるかに豊かな段階図式によって、規定しようとするものである。これによって同時に、人間の自然科学的概念—それによれば、人間は動物のなかでも、ただ非常に複雑化している点では際立ってはいるものの小さな片隅をなしているにすぎない—と、人間の本質概念—それはすべての動物的なものから人間を鋭く区別する—との間の矛盾を克服しようというのである。シェーラーの考察は、無機物的自然の上位にある、すべての実在的な存在者にかかわるものであるが、この考察が前提しているのは、次のことである。すなわち、生命の領域と心的な領域とは重なっており、それゆえ、すべての生物は対自存在ないしは内面的存在を有しており、また、高次の本質形式に関与している生命存在もすべて、同時により低次の諸原理をそれ自身のうちに持っている、ということである。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

10月入学 入学試験問題

(4 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ <u>外国人</u> ・社会人
試験科目	心理学		

問題1

以下の英文を読んで下の問題に答えなさい。

出典 Egan,V.(2009).The 'big five': neuroticism, extraversion, openness, agreeableness and conscientiousness as an organisational scheme for thinking about aggression and violence. In McMurran, M. and Howard, R.(ed.)

Personality, personality disorder and violence. Wiley. pp.63-83.より p.64 L7-p.65L41 (なお出題の都合上本文の一部を改編した)。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

10月入学 入学試験問題

(4 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ <u>外国人</u> ・社会人
試験科目	心理学		

- (1) 太線で囲んだ部分を要約しなさい。
- (2) パーソナリティ研究において Lexical methods (語彙研究) よりも Factor-analytic approach が優れている点を本文に基づいて説明しなさい。
- (3) 下線部はどのような意味かを説明しなさい。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

10月入学 入学試験問題

(4 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ <u>外国人</u> ・社会人
試験科目	心理学		

※どの設問についての解答かを解答用紙に記しなさい。

問題2 以下から2つを選んで答えなさい。

- (1) 1 要因 3 水準の分散分析は、t 検定を 3 回おこなうことと同じである。このことの正誤について、「第 1 種の誤り」という用語を用いて説明しなさい。
- (2) 回避学習 (avoidance learning) とはどのような学習か、手続きや行動の変化と合わせて、主要な説明理論を 1 つ選んで説明しなさい。
- (3) 調査研究における応答の構えについて説明し、これを抑制するために、調査項目の作成や呈示において、どのような方法があるかを述べなさい。
- (4) 心理的機能の個人差について、遺伝と環境の相互作用の観点から説明しなさい。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

10月入学 入学試験問題

(4 枚のうち 4 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ <u>外国人</u> ・社会人
試験科目	心理学		

※どの設問についての解答かを解答用紙に記しなさい。

問題3 以下の用語から 5 つを選んで簡潔に説明しなさい。

- (1) E. C. Tolman の潜在学習 (latent learning) 実験
- (2) Dark Triad
- (3) A. Bandura の社会的学習理論
- (4) セルフ・モニタリング
- (5) 大きさの恒常性
- (6) 記憶の文脈依存性
- (7) 潜在連合テスト (Implicit Association Test)
- (8) 弁別学習
- (9) H. F. Harlow の代理母実験

2023 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 外国人

科目名 心理学 記載者氏名 岡田 努

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題1 以下の英文を読んで下の問題に答えなさい。

（1）太線で囲んだ部分を要約しなさい。

パーソナリティの主要な次元については、語彙研究による方法と、行動に基づく性格モデルがあり、後者の手法は因子分析的な方法に応用が可能である。因子分析的な方法は単純な記述的方法である語彙的アプローチから、性格の構造についての科学的な説明に転換することができる。アイゼンクの性格論における3因子はそうした科学的な説明の1つである。他方、語彙研究に基づくキャッテルの16因子は再現性に乏しく、キャッテルの16PF検査から頑強な因子は5因子しか抽出されなかった。

（2）パーソナリティ研究において Lexical methods（語彙研究）よりも Factor-analytic approach が優れている点を本文に基づいて説明しなさい。

採点基準: Lexical methods においては性格を表す語彙を研究者が直観的に分類してきたが、Factor-analytic approach には、行動モデルからの拡張により、言語による文化差、回答者本人のデータだけでなく観察者のデータを含め様々なレベルでの説明が可能になりより科学的な方法により分類が可能となったことなどが述べられているか。

（3）下線部はどのような意味かを説明しなさい。

採点基準: 以下の点について言及されているか。

- ・項目間の相関のパターンに基づいた分析（因子分析）を用いて5因子モデルをさらに高次の因子であるアルファとベータに集約されたこと。
- ・アルファは外向性と開放性が一体化し、ベータは調和性（協調性）と誠実性（勤勉性）および神経症傾向が一体化した側面であることが述べられているか。
- ・さらにアルファが肯定的な情動を表し、ベータが抑制傾向の低さと神経症傾向が一体化した否定的な側面であることに言及されていればなおよい。

問題2 以下から2つを選んで答えなさい。

（1）1要因3水準の分散分析は、t検定を3回おこなうことと同じである。このことの正誤について、「第1種の誤り」という用語を用いて説明しなさい。

これは誤りである。同じデータセットに対して検定を繰り返しておこなうということは、帰無仮説の棄却を同時に繰り返しておこなっていることを意味している。検定の基準となるのは第一種の誤りを犯さない確率 $(1-\alpha)$ であり、検定を n 回繰り返すことによって、基準となる $(1-\alpha)$ も n 乗されて小さくなってしまふ。検定の基準が小さくなるとその補数 $(1-(1-\alpha))$ であった有意水準が大きくなってしまい、結果として帰無仮説が棄却されやすくなり、第一種の誤りを犯しやすくなる。想定よりも大きな有意水準で検定をおこなってしまっていることになるため、このような多重性の問題は避けなければならない。

たとえば、有意水準 α を5%として同じデータに3回検定を繰り返すと、 $(1-0.05) \times (1-0.05) \times (1-0.05) = 0.857$ となり、検定の基準は0.95より小さくなる。ひとつひとつの検定では有意水準 α を5%として実施しているつもりでも、全体でみると実際には14.3%の有意水準で検定していることになり、第一種の誤りを犯しやすくなる。

(2) 回避学習 (avoidance learning) とはどのような学習か、手続きや行動の変化と合わせて、主要な説明理論を1つ選んで説明しなさい。

採点基準：信号付の回避学習について、嫌悪刺激を受けてから反応が生じる逃避学習から、信号により嫌悪刺激を事前に避ける反応を行う回避学習に進行することが説明できている。シドマン型回避学習や受動的回避学習についての説明でもよい。マウラーの二過程説やセリグマンの認知理論等の主要な説明仮説の1つについて、概要が説明できていること。

(3) 調査研究における応答の構えについて説明し、これを抑制するために、調査項目の作成や呈示において、どのような方法があるかを述べなさい

採点基準：以下の点に言及されているかを採点のポイントとする。

- ・調査項目の内容とは無関係に、項目の反応の様式によって生じる応答の一貫性で、こうした応答は項目内容とは異なるものに基づいて応答したことを意味することが述べられているか。
- ・黙従傾向、社会的望ましさ、極端な応答スタイル、中心化傾向など具体的な応答の構えが挙げられているか。
- ・それぞれの例について抑制、除去の方法とその限界について正しく述べられているか。

(4) 心理的機能の個人差について、遺伝と環境の相互作用の観点から説明しなさい。

知的能力やパーソナリティ、認知スタイルといった心理的機能には個人差がある。その原因としては、生まれつきの生得的要因としての遺伝、および、経験的な要因としての環境が関わっていると考えられており、この問題は心理学研究の大きなテーマの一つとなっている。アメリカのワトソンが行動主義を提唱した1920年代から1970年代頃までは、環境的要因が重視されていたが、現在では、遺伝と環境の相互作用によって個人差は形成され则认为られている。その根拠となる行動遺伝学では、縦断的な双生児法によって得られたデータに基づいて遺伝子の共有度と環境の共有度から個人差を統計的に分析し、遺伝と環境の寄与率を推定する手法が用いられている。その結果、知的能力は、家庭環境といった共有環境よりも、学校など家庭以外で経験する非共有環境の影響がより大きく、また、基本的なパーソナリティの個人差は50%程度が遺伝的影響を受けていると報告されている。近年では、さまざまな環境的要因によって遺伝子の表現型に変化が生じるエピジェネティクスという新たな知見が発見されている。

問題3 以下の用語から5つを選んで簡潔に説明しなさい。

(1) E. C. Tolman の潜在学習 (latent learning) 実験

採点基準：迷路学習において、報酬群、無報酬群、無報酬-報酬群が設定されたこと、無報酬-報酬群において報酬が導入されると即座に報酬群に匹敵する遂行が示されたこと、トールマンはこの結果により、報酬は学習には必須ではなく、反応の遂行に影響する要因であると主張したことなどが説明されている。

(2) Dark Triad

互いに相関の高いマキャヴェリアニズム、精神病質 (サイコパシー)、自己愛パーソナリティのパーソナリティのこと。攻撃傾向や共感能力の欠如、他者への支配や敵意、望む資源を手に入れるために高圧的な方略をとる傾向、他者のことをほとんど考慮に入れずに自己の利益に焦点化すること、偽る傾向などの特徴をもつ。3者はお互いに関連を持つが、道徳的思考においてはサイコパシーとマキャヴェリアニズムが相対的に低い、攻撃性についてはマキャヴェリアニズムが他の2者に比べ強く結びつかないなど、完全に一致するわけではない。

(3) A. Bandura の社会的学習理論

アメリカの心理学者バンデューラは、従来の行動主義の考え方に人の内的過程が介在することを認め、実際に訓練や経験を経ることなく、他者が特定の行動をとって報酬や罰を受けているところを観察するだけで、報酬を受ける行動の学習が成立する現象を発見し、観察学習 (モデリング) と呼んだ。また、バンデューラは、人間の行動を決定する重要な要因として自己効力感 (self efficacy) という概念を提唱し、人間が行動を遂行する先行要因として結果期待と効力期待を挙げている。効力期待に影響を与える要因として、達成経験、代理経験、言語的説得、生理・情緒的覚醒の4つが

ある。1960年代から1980年代にかけて提唱されたこのようなバンデューラの考えを総称して社会的学習理論と呼んでいる。

(4) セルフ・モニタリング

自己提示（呈示）の個人差の指標で、対人場面において、その場その場での適切な振る舞い方が手掛かりを敏感に察知し、それに基づいて自己の状態をモニターし調整する傾向の強さのこと。高セルフ・モニタリング者は、その場の規範に合わせて自分の行動を調整する傾向が高いが、低セルフ・モニタリング者は自らの好みや考えに従った行動を取る傾向が高い。自己意識傾向、パーティに出席する際の服装、広告の好みなど様々な行動に両者の違いが見られる。

(5) 大きさの恒常性

知覚は、物理的・化学的刺激による情報が感覚器官を通じて脳に伝達され、外界の対象の形態や動き、内部感覚の状態を把握する主観的な認知的処理である。環境条件の変化によらず、比較的一定に知覚されることを知覚の恒常性という。たとえば、物の大きさを知覚する場合、網膜像の大きさだけに基づいて判断しているわけではなく、対象物までの距離や対象物の大きさについての知識など、さまざまな情報をもとにして大きさを知覚している。網膜像の大きさが変化しているにもかかわらず、同じ大きさであると知覚される現象を大きさの恒常性という。

(6) 記憶の文脈依存性

記憶はそれが記銘された文脈において検索可能性が高くなる現象を指す。標的となる情報は文脈とともに符号化されているため、その文脈が与えられると、検索手がかりとして機能し、標的の検索が促進されるために生じると考えられる。

(7) 潜在連合テスト (Implicit Association Test)

概念を表す2つの刺激と、属性を表す2つの刺激をそれぞれ呈示し、より近いもの同士の2つの組み合わせに分類する課題を行い、その反応時間の差によって、人の潜在的な意識や態度を測定する方法のこと。自分自身の行動を意図的に統制しにくいため、偏見や自尊感情など、顕在的な測定では社会的望ましさが反映されやすい事柄についても、そうした影響を排除しやすいとされている。一方、このような課題による反応時間の差が、想定する意識や態度の指標として妥当なものかどうかについては批判もある。

(8) 弁別学習

道具的条件づけ（オペラント条件づけ）において、特定の弁別手がかり下での反応を強化したり、別の弁別手がかり下での反応を強化しなかったりすることにより、弁別手がかりに応じて異なる反応が生じるようになる学習を指す。例えば、ラットのオペラント条件づけにおいて、ライトが点灯しているときにはレバーを押すと餌報酬が提示されるが、ライトが消えているときにはレバーを押しても餌報酬が提示されない条件下で訓練を行うと、ライトが点灯しているときにレバーを押す頻度が高くなる例が相当する。（人間の例や古典的条件づけにおける分化条件づけの説明でも良いものとする）。

(9) H.F.Harlow の代理母実験

1950年代にから1970年代にかけて、アメリカの心理学者ハーローは、生まれてまもない赤毛サルの子を母サルから隔離してさまざまな代理母実験をおこなった。たとえば、2種類の代理母（針金で作られておりミルクを与えることができる代理母、および、あたたかい手触りの布で作られているがミルクを与えることができない代理母）が並んだケージの中で養育された赤ちゃんサルは、布製の代理母にしがみつく時間が長く、また、突然音を立てて動くおもちゃが現れて恐怖を感じた際には布製の代理母のところへ急いで戻る行動がみられた。また、代理母に養育された赤ちゃんサルはその後、深刻な情緒的障害や攻撃行動を示した。このような一連の代理母実験から、アタッチメントの形成や心の健全な発達には食欲を満たすだけでは不十分であり、スキンシップ、応答的な関わり、友達との遊びの経験が重要であることが示されている。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(4 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般 外国人・社会人
試験科目	心理学		

問題1

以下の英文を読んで下の問題に答えなさい。

出典 Egan,V.(2009).The 'big five': neuroticism, extraversion, openness, agreeableness and conscientiousness as an organisational scheme for thinking about aggression and violence. In McMurran, M. and Howard, R.(ed.) *Personality, personality disorder and violence*. Wiley. pp.63-83.より p.64 L7-p.65L41 (なお出題の都合上本文の一部を改編した)。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(4 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般 外国人・社会人
試験科目	心理学		

- (1) 太線で囲んだ部分を要約しなさい。
- (2) パーソナリティ研究において Lexical methods (語彙研究) よりも Factor-analytic approach が優れている点を本文に基づいて説明しなさい。
- (3) 下線部はどのような意味かを説明しなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(4 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	心理学		

※どの設問についての解答かを解答用紙に記しなさい。

問題2 以下から3つを選んで答えなさい。

- (1) 1 要因 3 水準の分散分析は、t 検定を 3 回おこなうことと同じである。このことの正誤について、「第 1 種の誤り」という用語を用いて説明しなさい。
- (2) 回避学習 (avoidance learning) とはどのような学習か、手続きや行動の変化と合わせて、主要な説明理論を 1 つ選んで説明しなさい。
- (3) 調査研究における応答の構えについて説明し、これを抑制するために、調査項目の作成や呈示において、どのような方法があるかを述べなさい。
- (4) 心理的機能の個人差について、遺伝と環境の相互作用の観点から説明しなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(4 枚のうち 4 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般 外国人・社会人
試験科目	心理学		

※どの設問についての解答かを解答用紙に記しなさい。

問題3 以下の用語から8つを選んで簡潔に説明しなさい。

- (1) E. C. Tolman の潜在学習 (latent learning) 実験
- (2) Dark Triad
- (3) A. Bandura の社会的学習理論
- (4) セルフ・モニタリング
- (5) 大きさの恒常性
- (6) 記憶の文脈依存性
- (7) 潜在連合テスト (Implicit Association Test)
- (8) 弁別学習
- (9) H. F. Harlow の代理母実験

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 心理学 記載者氏名 岡田 努

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題1 以下の英文を読んで下の問題に答えなさい。

（1）太線で囲んだ部分を要約しなさい。

パーソナリティの主要な次元については、語彙研究による方法と、行動に基づく性格モデルがあり、後者の手法は因子分析的な方法に 응용が可能である。因子分析的な方法は単純な記述的方法である語彙的アプローチから、性格の構造についての科学的な説明に転換することができる。アイゼンクの性格論における3因子はそうした科学的な説明の1つである。他方、語彙研究に基づくキャッテルの16因子は再現性に乏しく、キャッテルの16PF検査から頑強な因子は5因子しか抽出されなかった。

（2）パーソナリティ研究において Lexical methods（語彙研究）よりも Factor-analytic approach が優れている点を本文に基づいて説明しなさい。

採点基準: Lexical methods においては性格を表す語彙を研究者が直観的に分類してきたが、Factor-analytic approach には、行動モデルからの拡張により、言語による文化差、回答者本人のデータだけでなく観察者のデータを含め様々なレベルでの説明が可能になりより科学的な方法により分類が可能となったことなどが述べられているか。

（3）下線部はどのような意味かを説明しなさい。

採点基準: 以下の点について言及されているか。

- ・項目間の相関のパターンに基づいた分析（因子分析）を用いて5因子モデルをさらに高次の因子であるアルファとベータに集約されたこと。
- ・アルファは外向性と開放性が一体化し、ベータは調和性（協調性）と誠実性（勤勉性）および神経症傾向が一体化した側面であることが述べられているか。
- ・さらにアルファが肯定的な情動を表し、ベータが抑制傾向の低さと神経症傾向が一体化した否定的な側面であることに言及されていればなおよい。

問題2 以下から3つを選んで答えなさい。

（1）1要因3水準の分散分析は、t検定を3回おこなうことと同じである。このことの正誤について、「第1種の誤り」という用語を用いて説明しなさい。

これは誤りである。同じデータセットに対して検定を繰り返しおこなうということは、帰無仮説の棄却を同時に繰り返しおこなっていることを意味している。検定の基準となるのは第一種の誤りを犯さない確率 $(1-\alpha)$ であり、検定を n 回繰り返すことによって、基準となる $(1-\alpha)$ も n 乗されて小さくなってしまふ。検定の基準が小さくなるとその補数 $(1-(1-\alpha))$ であった有意水準が大きくなってしまい、結果として帰無仮説が棄却されやすくなり、第一種の誤りを犯しやすくなる。想定よりも大きな有意水準で検定をおこなってしまっていることになるため、このような多重性の問題は避けなければならない。

たとえば、有意水準 α を5%として同じデータに3回検定を繰り返すと、 $(1-0.05) \times (1-0.05) \times (1-0.05) = 0.857$ となり、検定の基準は0.95より小さくなる。ひとつひとつの検定では有意水準 α を5%として実施しているつもりでも、全体でみると実際には14.3%の有意水準で

検定していることになり、第一種の誤りを犯しやすくなる。

(2) 回避学習 (avoidance learning) とはどのような学習か、手続きや行動の変化と合わせて、主要な説明理論を1つ選んで説明しなさい。

採点基準：信号付の回避学習について、嫌悪刺激を受けてから反応が生じる逃避学習から、信号により嫌悪刺激を事前に避ける反応を行う回避学習に進行することが説明できている。シドマン型回避学習や受動的回避学習についての説明でもよい。マウラーの二過程説やセリグマンの認知理論等の主要な説明仮説の1つについて、概要が説明できていること。

(3) 調査研究における応答の構えについて説明し、これを抑制するために、調査項目の作成や呈示において、どのような方法があるかを述べなさい。

採点基準：以下の点に言及されているかを採点のポイントとする。

- ・調査項目の内容とは無関係に、項目の反応の様式によって生じる応答の一貫性で、こうした応答は項目内容とは異なるものに基づいて応答したことを意味することが述べられているか。
- ・黙従傾向、社会的望ましさ、極端な応答スタイル、中心化傾向など具体的な応答の構えが挙げられているか。
- ・それぞれの例について抑制、除去の方法とその限界について正しく述べられているか。

(4) 心理的機能の個人差について、遺伝と環境の相互作用の観点から説明しなさい。

知的能力やパーソナリティ、認知スタイルといった心理的機能には個人差がある。その原因としては、生まれつきの生得的要因としての遺伝、および、経験的な要因としての環境が関わっていると考えられており、この問題は心理学研究の大きなテーマの一つとなっている。アメリカのワトソンが行動主義を提唱した1920年代から1970年代頃までは、環境的要因が重視されていたが、現在では、遺伝と環境の相互作用によって個人差は形成されると考えられている。その根拠となる行動遺伝学では、縦断的な双生児法によって得られたデータに基づいて遺伝子の共有度と環境の共有度から個人差を統計的に分析し、遺伝と環境の寄与率を推定する手法が用いられている。その結果、知的能力は、家庭環境といった共有環境よりも、学校など家庭以外で経験する非共有環境の影響がより大きく、また、基本的なパーソナリティの個人差は50%程度が遺伝的影響を受けていると報告されている。近年では、さまざまな環境的要因によって遺伝子の表現型に変化が生じるエピジェネティクスという新たな知見が発見されている。

問題3 以下の用語から8つを選んで簡潔に説明しなさい。

(1) E. C. Tolman の潜在学習 (latent learning) 実験

採点基準：迷路学習において、報酬群、無報酬群、無報酬-報酬群が設定されたこと、無報酬-報酬群において報酬が導入されると即座に報酬群に匹敵する遂行が示されたこと、トールマンはこの結果により、報酬は学習には必須ではなく、反応の遂行に影響する要因であると主張したことなどが説明されている。

(2) Dark Triad

互いに相関の高いマキャヴェリアニズム、精神病質 (サイコパシー)、自己愛パーソナリティのパーソナリティのこと。攻撃傾向や共感能力の欠如、他者への支配や敵意、望む資源を手に入れるために高圧的な方略をとる傾向、他者のことをほとんど考慮に入れずに自己の利益に焦点化すること、偽る傾向などの特徴をもつ。3者はお互いに関連を持つが、道徳的思考においてはサイコパシーとマキャヴェリアニズムが相対的に低い、攻撃性についてはマキャヴェリアニズムが他の2者に比べ強く結びつかないなど、完全に一致するわけではない。

(3) A. Bandura の社会的学習理論

アメリカの心理学者バンデューラは、従来の行動主義の考え方に人の内的過程が介在することを認め、実際に訓練や経験を経ることなく、他者が特定の行動をとって報酬や罰を受けているところを観察するだけで、報酬を受ける行動の学習が成立する現象を発見し、観察学習 (モデリング) と呼んだ。また、バンデューラは、人間の行動を決定する重要な要因として自己効力感 (self efficacy) という概念を提唱し、人間が行動を遂行する先行要因として結果期待と効力期待を挙げている。効

力期待に影響を与える要因として、達成経験、代理経験、言語的説得、生理・情緒的覚醒の4つがある。1960年代から1980年代にかけて提唱されたこのようなバンデューラの考えを総称して社会的学習理論と呼んでいる。

(4) セルフ・モニタリング

自己提示（呈示）の個人差の指標で、対人場面において、その場その場での適切な振る舞い方が手掛かりを敏感に察知し、それに基づいて自己の状態をモニターし調整する傾向の強さのこと。高セルフ・モニタリング者は、その場の規範に合わせて自分の行動を調整する傾向が高いが、低セルフ・モニタリング者は自らの好みや考えに従った行動を取る傾向が高い。自己意識傾向、パーティに出席する際の服装、広告の好みなど様々な行動に両者の違いが見られる。

(5) 大きさの恒常性

知覚は、物理的・化学的刺激による情報が感覚器官を通じて脳に伝達され、外界の対象の形態や動き、内部感覚の状態を把握する主観的な認知的処理である。環境条件の変化によらず、比較的一定に知覚されることを知覚の恒常性という。たとえば、物の大きさを知覚する場合、網膜像の大きさだけに基づいて判断しているわけではなく、対象物までの距離や対象物の大きさについての知識など、さまざまな情報をもとにして大きさを知覚している。網膜像の大きさが変化しているにもかかわらず、同じ大きさであると知覚される現象を大きさの恒常性という。

(6) 記憶の文脈依存性

記憶はそれが記録された文脈において検索可能性が高くなる現象を指す。標的となる情報は文脈とともに符号化されているため、その文脈が与えられると、検索手がかりとして機能し、標的の検索が促進されるために生じると考えられる。

(7) 潜在連合テスト (Implicit Association Test)

概念を表す2つの刺激と、属性を表す2つの刺激をそれぞれ呈示し、より近いもの同士の2つの組み合わせに分類する課題を行い、その反応時間の差によって、人の潜在的な意識や態度を測定する方法のこと。自分自身の行動を意図的に統制しにくいと、偏見や自尊感情など、顕在的な測定では社会的望ましさが反映されやすい事柄についても、そうした影響を排除しやすいとされている。一方、このような課題による反応時間の差が、想定する意識や態度の指標として妥当なものかどうかについては批判もある。

(8) 弁別学習

道具的条件づけ（オペラント条件づけ）において、特定の弁別手がかり下での反応を強化したり、別の弁別手がかり下での反応を強化しなかったりすることにより、弁別手がかりに応じて異なる反応が生じるようになる学習を指す。例えば、ラットのオペラント条件づけにおいて、ライトが点灯しているときにはレバーを押すと餌報酬が提示されるが、ライトが消えているときにはレバーを押しても餌報酬が提示されない条件下で訓練を行うと、ライトが点灯しているときにレバーを押す頻度が高くなる例が相当する。（人間の例や古典的条件づけにおける分化条件づけの説明でも良いものとする）。

(9) H.F.Harlow の代理母実験

1950年代にから1970年代にかけて、アメリカの心理学者ハーローは、生まれてまもない赤毛サルの子を母サルから隔離してさまざまな代理母実験をおこなった。たとえば、2種類の代理母（針金で作られておりミルクを与えることができる代理母、および、あたたかい手触りの布で作られているがミルクを与えることができない代理母）が並んだケージの中で養育された赤ちゃんサルは、布製の代理母にしがみつくと時間が長く、また、突然音を立てて動くおもちゃが現れて恐怖を感じた際には布製の代理母のところへ急いで戻る行動がみられた。また、代理母に養育された赤ちゃんサルはその後、深刻な情緒的障害や攻撃行動を示した。このような一連の代理母実験から、アタッチメントの形成や心の健全な発達には食欲を満たすだけでは不十分であり、スキンシップ、応答的な関わり、友達との遊びの経験が重要であることが示されている。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(5枚のうち1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	☐ 一般 ・ 外国人 ・ 社会人
試験科目	地理学		

問題1 後の文章と図は, Time Geography に関するものである。この文章と図に関する次の問題に答えよ。

参照

prism: 個人の制約の中での時間
空間的な活動可能範囲
domains: 個人や組織によって管
理されている場所や時間

出典: Kirsten Simonsen (2009): time-geography.
Derek Gregory, Ron Johnston, Geraldine Pratt,
Michael J. Watts, and Sarah Whatmore, *The
Dictionary of Human Geography 5th edition*,
p.756. を一部改変

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(5枚のうち2枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	☐ 一般 ・ 外国人 ・ 社会人
試験科目	地理学		

(1 枚目のつづき)

(問題)

(1)上(1 枚目)の文章のうち、下線部 a.と b.をそれぞれ日本語に訳しなさい。

(2)現代日本における大都市圏の都心と郊外とでは、さまざまな点において居住者の生活行動・環境が異なる。時間地理学の観点から、これら両地域の 65 歳未満就業者の生活行動における制限をそれぞれ日本語で述べよ。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(5枚のうち3枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	☐ 一般 ・ 外国人 ・ 社会人
試験科目	地理学		

問題2 以下の用語から5つを選び、それぞれについて説明しなさい。解答用紙には、選択した用語を記入した後に、説明を記述しなさい。

1. 混住化 (mixed settlement, community mixing)
2. ジェントリフィケーション (gentrification)
3. 連鎖移住 (chain migration)
4. 全国総合開発計画 (Comprehensive National Development Plan)
5. 国際労働力移動 (international labor migration)
6. 自然発生的集落 (spontaneous settlement)
7. 過剰都市化 (over-urbanization)
8. メンタル・マップ (mental map)
9. 人文主義地理学 (humanistic geography)
10. 状況に置かれた知 (situated knowledge)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(5枚のうち 4枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	☒ 一般 ・ 外国人 ・ 社会人
試験科目	地理学		

問題3

(1) 次の①または②のうち1つを選択して、答えなさい。解答用紙には選択した番号を明記しておくこと。

①L.H.クラークセン(クラッセン)らの都市モデルの考え方を説明しなさい。

②都市の発展や形態に関わる、H.ホイトの扇型モデルと C.ハリス・E.ウルマンの多核心モデルに共通する考え方を説明しなさい。

(2)問題用紙 5 枚目の図を読んで以下の問いに答えなさい。

①:近畿大都市圏¹⁾およびその周辺の地域的な人口変化とその要因を説明しなさい。

②:①を踏まえた上で、今後重要になると考えられる政策課題を具体的な地域(自治体名)を挙げつつ論じなさい。

注1:ここでの近畿大都市圏は総務省の定義による範囲とする。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(5枚のうち 5枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	☐ 一般 ・ ☐ 外国人 ・ ☐ 社会人
試験科目	地理学		

図：国勢調査 市町村別人口増減率（2015～2020 年）

注：縮尺は省略した。

出典：「日本統計地図：国勢調査 都道府県・市区町村別特性図 人口増減率（平成 27 年～令和 2 年）」の一部を抜粋。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 地理学 記載者氏名 田中健作・宇根義己・安 哉宣

解答例又は出題意図

問題 1 地理学的観点から、英語能力および時間地理学的な見方を問う問題である。

問題 2 現代の人文地理学における基本的な諸概念に対する知識と理解度を問う問題である。

問題 3

- 1) 都市地理学に関する基礎知識と理解度を問う問題である。
- 2) 日本の都市に関する専門知識、およびそれを踏まえた考察力を問う問題である。

（3枚のうち 1枚目）

専攻名【人文学】

選抜区分【一般・外国人・社会人】

試験科目【東洋史学】

*試験問題には、問題1、問題2および問題3がある。それぞれの指示に注意しながら、問題1～問題3の全てに解答すること。問題用紙は全部で3枚ある。

*解答用紙は「横書き」で用いること。また、解答の際には、問題ごとに解答用紙を着えて解答すること。

問題1

以下の文章の、線で囲ったAとBの部分で、それぞれ現代日本語に訳しなさい。なお、注釈の部分は訳さなくてよい。

〔宗韵著《明代家族上行流动研究——以1595篇谱牒序跋所涉家族为案例》

（华东师范大学出版社、二〇〇九年）九十一頁三行目～二十三行目〕

（ 3枚のうち 2枚目）

専攻名【 人 文 学 】 選抜区分【 一般・外国人・社会人 】
試験科目【 東 洋 史 学 】

問題2

以下の史料は、『後漢書』列伝十三竇融列伝に収録されている竇融の曾孫・竇憲の伝の一部である。引用した史料を読んだうえで、線で囲ったA・B・Cの三つの部分を、それぞれ現代日本語に訳しなさい。

なお付記の注釈と補注もよく読み、翻訳に活かすこと。注釈そのものを翻訳する必要はない。

『後漢書』列伝十三竇融列伝附憲伝

(3枚のうち 3枚目)

専攻名【 人 文 学

】 選抜区分【 (一般) 外国人・社会人 】

試験科目【 東 洋 史 学

】

(問題2つづき)

【補注】

*建初二年：建初は第三代皇帝・章帝の年号。西暦七七年。

*計：争う。

*肅宗：章帝のこと。

*何用：用は以と同じ。

*永平：第二代皇帝・明帝の年号。西暦五八～七五年。

*爲言：話題とする。話す。

*毀服：服装の格を本来着るべきものから落とし、粗末な服を着る。

*總已：それぞれの職務をしっかりと果たす。

〔宋〕范曄 撰 〔唐〕李賢 等注 『後漢書』第三冊 卷一五至卷二四 (伝二) (中華書局香港分局、一九七一年)、
八一二頁一行目～八一四頁一行目。なお本文中に改変した部分がある。

問題3

以下の語句のうちから5つを選び、その内容や歴史的意義などについて、現代日本語もしくは現代中国語で説明しなさい。

牛李党争

胡惟庸の獄

大明宮

四部分類

都督制

唐令拾遺

許昌

孝廉察举

九卿

散官

農牧接壤地帯 (農牧境界地帯)

八王の乱

官品・郷品

谷川道雄

泰始律令

宋濂

中書省

〈以 上〉

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 東洋史学 記載者氏名 古市 大輔

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

〈出題意図〉

問題 1

修士論文の執筆に不可欠な関連知識の確認に加え、現代中国語に関する素養、特に論文の読解力を問うものである。

問題 2

修士論文の執筆に不可欠な関連知識の確認に加え、関連する史料の理解力など、その史料を正確に解釈できる能力を多面的に問うものである。

問題 3

修士論文の執筆に不可欠な、東洋史学に関する基礎的知識を幅広く会得しているかどうかを問うものである。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(2枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般 外国人・社会人
試験科目	考古学		

問題1 次の英文を読み、問に答えなさい。

(出典: Colin Renfrew and Paul Bahn, *Archaeology. Theories, Methods, and Practice*, Eighth Edition, Thames & Hudson, 2020, pp. 175, 177)

(1) 英文をすべて日本語に訳しなさい。

(2) 下線部について自身の研究したいテーマに関連づけて自らの考えを述べなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(2枚のうち 2枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	☒ 一般 ☐ 外国人・社会人
試験科目	考古学		

問題2 大学院において自身が研究しようと考えている研究テーマに関して近年の学界の研究動向を踏まえてどのような学術的な貢献が期待できるのか述べなさい。

問題3 考古学における学際的研究の実践例を示し、自身の考えを述べなさい。

問題4 次の用語の中から5つ選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。

1. 層位と層序
2. SD 法
3. ストロンチウム同位体比
4. サッカラ遺跡
5. ゴードン・チャイルド
6. ポスト・プロセス考古学
7. 使用痕分析
8. 共伴関係
9. 年輪年代法
10. ウルク遺跡
11. 真脇遺跡
12. 濱田耕作

問題5 博物館における考古遺物の展示のあり方について自身の考えを述べなさい。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学

選抜区分 人文学

科目名 考古学

記載者氏名 河合 望

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

(1) 副葬品を詳細に研究することにより社会的な地位の不均衡について多くを研究することができる。死者とともに埋葬されたものが、そのままその人の生前の地位を表したり、その人自身の持ち物や使っていたものなのかについては注意が必要である。墓というものは、生者によって作られたものであり、死者を象徴し死者のために作られると同時に、生者が他の生者との関係を表したり他者に影響を及ぼしたりするためにも使われる。にもかかわらず、死者の生前の役割や地位と墓の配置や副葬品などとの間に、何らかの関係が認められることもよくある。

認められる差異が男女の性別によるものなのかどうか、これらの違いが貧富の差や社会的地位の格差を表しているかどうかなどを追究するために、墓の分析が行われる。階層や地位に関する要件としては年齢もまた重要で、年齢の違いによって死者の扱いを変えた可能性があることは明らかである。相対的に平等社会、つまり社会的な序列を示さない社会においては、埋葬習慣は彼ないし彼女自身の生涯における功績（例えば狩猟など）を、達成された地位として反映するのもかもしれない。しかし、考古学者は得られた資料から研究対象が獲得されて地位なのか、それとも生まれながらの地位によるものなのかを問わなければならない。この両者を区分することは、そうたやすいことではない。一つの有効な基準は、子供に豊かな副葬品を伴うかどうか、特別に厚く葬られているかどうかを追究することである。もしそうであれば、そこには生まれながらの序列が存在していると考えられる。なぜなら子供はそれほど早く個人的な能力で社会的地位を獲得するとは思えないからである。

(2)

（出題意図）自身の研究内容を事例とした場合、英文の内容に関連して具体的にどのようなことが考えられるのか、考古学における埋葬研究に取り組む姿勢を問うことを意図する。

問題 2

(出題意図) 研究希望テーマの研究史と現在の研究動向を踏まえているか、その上でどのような立ち位置で研究への貢献が期待できるのかを問うことを意図する。

問題 3

(出題意図) 今後ますます重要性が増し、本学でも推奨されている学際的研究について、考古学における実践例を示し、それに対する考え方を問うことを意図する。

問題 4

(1) 層位は、遺跡の土層（地層）の堆積状態、土色、堆積物、構造など肉眼で認識できる特徴が同じあるいは類似しているものがある一定の厚さをもってほぼ水平方向に連続している部位。遺跡を構成する土層（地層）の上下に重なる順序が層序である。

(2) SD 法とは Sequential Dating のことで、英国のエジプト考古学者フリンダース・ピートリーが考案した。ピートリーはモンテリウスが提示したような型式学を踏まえており、生物の進化と同じように考古遺物の変化も少しずつじゃちちを変えるように起こったこと、および痕跡期間の存在が考古資料の新旧関係を示すことを重視した。そこで連続的な遺物の変化と痕跡器官、および遺物の共伴関係を手がかりとしてエジプトのナカダ文化の墓と遺物を並べ替え、これらの仮想形成順序を復元して編年を構築した。

(3) ストロンチウム(Sr)は、生物の必須元素ではないが、生体のうち骨や歯に多く含まれている。地球化学の分野では、環境の中で地質によってストロンチウムの同位体比に変動があることが知られており、場所によって同位体比に違いがある。また、生態系の中でこの元素も循環をしている。岩石が風化すると Sr が環境中に供給される。水に溶けるので、植物や動物が吸収し、人も体内に取り込む。そこで、ある地域に生息する生物や人は、その地域の地質に由来する Sr 同位体比を示すことになる。このことを利用すると、動物や人の移動が明らかとなる。

(4) サッカラ遺跡は、エジプト有数の墓地遺跡で、世界遺産に登録されているメンフィスとその墓地遺跡の中心部にあたる。初期王朝時代からコプト時代までの約 3600 年間にわたり墓地が形成された。最も有名な遺構は最古のピラミッドであるジェセル王の階段ピラミッドである。

(5) ゴードン・チャイルドは、ロンドン大学考古学研究所の考古学者。ヨーロッパの先史時代の研究を専門とし、「新石器革命」、「都市革命」を提案した。マルクス主義の社会・経済理論と文化史的考古学の視点を合わせ、マルクス主義考古学を提唱した。日本考古学に大きな影響を与えた。

(6) ポスト・プロセス考古学とは、社会が時間とともにいかに変化したか、そのプロセスに迫ることを目的とし、自然科学との協業や統計を大々的に導入した 1960 年代から 1970 年代に北米で隆

盛となったプロセス考古学とは違った研究目標を掲げたり、研究手段を取ったりする考古学の総称で、1980年代から英国を中心に強調された。ポスト・プロセス考古学は歴史変革・社会進化の法則性を積極的に認めず、考古資料の解釈においては研究者の主観を重んじる。考古学の型式は社会の規範によって生じたのではなく、諸個人が自らの目的を実現するための意味（象徴）を込めて生み出したものであるとした。一般化を避け個別的な説明を行う傾向がある。

(7) 使用痕分析とは、考古遺物の使用時の状況を示す痕跡を観察することからモノの機能を明らかにすることが期待される分析方法。とりわけ先史時代の石器は、形や大きさとともに使用痕の観察を手がかりにして用途が推測される。主として刃部の擦痕を顕微鏡で観察して、どのように刃を動かしたかという行為の復元から用途を推測する研究が行われている。土器の研究でも煮炊きに使われた器種には吹きこぼれたおこげの付着が認められることがあり、「なべ」としての用途を示す重要な証拠となる。

(8) 共伴関係とは、異なる種類あるいは性格の遺物が同じ遺構から一緒に出土する関係のことである。層位学的検証とともに考古資料の型式学的序列を裏付ける方法として共伴関係の出土事例の数的把握が重要である。

(9) 年輪年代法とは、気象条件の変化による樹木の年輪の幅の差異や同一地域内での同じパターンを見せる同一種の樹木の年輪パターンを利用して、新たに伐採された樹木の年輪のパターンを現在の起点として年輪幅のダイアグラムを作り、そこに見られるパターンと過去に伐採された木材のパターンを照合して、重なる部分を徐々に過去に向かって繋ぎ合わせていくことで長期間のパターンを作成し、直接的に絶対年代を得る方法である。ただし、年輪年代法は季節性のない熱帯地方で生える植物など年輪を形成しない樹木には適応できない。

(10) イラク南東部にある都市遺跡でウルク期の標準遺跡。ウルク期には都市化が本格化し、都市化した集落では周壁、街路や水利施設、工房施設、行政施設、市場などが出現する。また神殿も大型化する。墓の副葬品の格差が顕著となり、一部で社会的地位の世襲を示す威信財も見られる。大規模な都市化がみられる。

(10) 石川県能登町にある縄文時代前期から晩期まで継続した集落遺跡。多種のイルカの骨が発見されており、古くからイルカ漁が盛んであったと考えられている。縄文時代晩期の環状木柱列が発見されており、石川県加賀地方や富山県など北陸における文化的類似性が指摘されている。

(12) 濱田耕作は、英国のエジプト考古学者フリンドラス・ピートリーのもとに留学し、日本最初の考古学講座である京都帝国大学の考古学講座の初代教授を務めた。留学の成果を踏まえ、日本の考古学に科学的研究方法を導入した。特に考古学の研究法、発掘調査、報告書出版、資料集成などの模範を示し、学会の指導的立場に立った。日本で最初の考古学の概説書『通論考古学』を執筆した。近代日本考古学の父とされる。

問題 5

(出題意図)

遺跡で発掘した考古遺物の展示における長所と短所を認識しているか。それに基づいた展示のあり方についての思考を問うことを意図する。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(2枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	社会人
試験科目	考古学		

問題1 次の英文を読み、(1)、(2)の設問に答えなさい。

(出典: Bruce G. Trigger, *Understanding Early Civilizations*, 2007, pp. 58-59. Cambridge University Press, Cambridge (paperback edition)).

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(2枚のうち 2枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	社会人
試験科目	考古学		

- (1) 英文の内容を要約しなさい。
(2) 英文の内容をふまえて、考古学を通じて過去の人間の行為や歴史を復元するうえでの制約や限界について、述べなさい。

問題2

- (1) 以下の用語のうち3つを選び、それらの語句について解説しなさい。解答用紙には選択した用語の番号を付すこと。

1. 考古科学
2. セトルメント・パターン研究
3. セリエーション
4. 記念建造物(モニュメント)
5. パブリック考古学

- (2) 以下の遺跡や場所のうち2つを選び、それぞれ基本的な情報(位置、時期、主要な遺構・遺物など)と研究史上の位置づけについて解説しなさい。解答用紙には選択した番号を付すこと。

1. 水月湖
2. 三内丸山遺跡
3. ギョベックリ・テペ遺跡
4. マチュピチュ遺跡
5. ティカル遺跡

問題3 大学院において自身が研究しようと考えている分野・研究テーマに関して近年の学界動向もふまえて、どのような学術的貢献が期待できるのか述べなさい。

問題4 デジタル技術や機械学習の技術が今後の考古学研究や文化遺産の保存と活用に果たす役割や展望について、具体的な事例をあげながら、説明しなさい。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学

選抜区分 社会人

科目名 考古学

記載者氏名 市川、足立、小高

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題1(出題意図)：英文読解力、要約能力、考古学の学問上の性質に対する理解を問う問題である。

- (1) 英語の読解力、英文を構造的に把握・理解する能力、専門的な英語の語彙力を確認する。
- (2) 英文の内容に照らし合わせて、考古学の学問上の性質についての知識と問題意識の有無を論理的に文章で説明する能力を問う。

問題2(解答例)：考古学の幅広い専門的知識や学史上重要とされる遺跡・場所についての理解を問う問題である。

- (1) 考古学の方法や用語に関する知識を問う問題である。
 1. 考古科学：自然科学的な手法を遺跡・遺構・遺物の研究に適用し、目に見えない多様なデータから過去のさまざまな側面を明らかにしていく分野である。例えば、絶対年代を得るための放射性炭素年代測定法、モノの原材料や出自などを調べる蛍光 X 線分析、古環境などを復元するための花粉分析などがある。
 2. セトルメント・パターン研究：ある特定地域にある各遺跡の機能や遺跡間の関係性について周辺の自然環境にも着目しながら遺跡の分布を記録し、分析する研究をさす。世界各地の考古学研究で適用され、とくに国家形成の研究の発展に影響を与えた。
 3. セリエーション：ある基準にしたがって分類されたモノの出現頻度や比率の変遷を層位にもとづいて数量的かつ視覚的に示す手法である。各土器型式の前後関係、おおまかな出現時期や存続期間などをとらえるうえで有効な分析手法であるとされる。
 4. 記念建造物（モニュメント）：遺跡内で顕著な大きさをもつ建造物をさす。造営に際し、大規模な労働力を必要とするものであり、エジプト文明やマヤ文明にみられる巨大ピラミッド、日本の古墳などが例として挙げられる。記念建造物には、過去の権力表象、政治的・経済的關係、技術や知識が凝縮されており、重要な研究トピックのひとつである。

5. パブリック考古学：考古学と社会の関係を研究し、その成果に基づいて、両者の関係を実践を通して改善するための分野である。教育・政治・経済と考古学、遺物の違法売買、市民の考古学への参加、考古学を通じた観光や地域開発、考古学と関連する法律など研究テーマは多岐にわたる。

(2)学史上重要とされる遺跡・場所についての理解を問う問題である。

1. 水月湖：福井県美浜町と若狭町にある三方五湖のひとつで、7 万年以上の歳月をかけて連続的に堆積した年縞が確認できる世界的にも珍しい湖である。この年縞から得られた放射性炭素年代に関するデータは、過去の年代を知るための指標として用いられている。また過去 7 万年の植生や気候変動に関する貴重なデータも得られている。
2. 三内丸山遺跡：青森県青森市に所在する縄文時代前期から中期の大規模な拠点集落遺跡である。大型掘立柱建物、埋設土器、貯蔵穴などの遺構、膨大な量の土器や石器、土偶、木製品、漆製品、多種多様な動植物遺存体などが見つかっている。これらの資料は縄文時代の正業や祭祀の多様性を示す貴重な資料であり、「北海道・北東北の縄文遺跡群」としてユネスコの世界遺産にも登録されていることから、世界的にも文化的歴史的価値のある遺跡である。
3. ギョベックリ・テペ遺跡：トルコのアナトリア南東部の山地上に位置し、紀元前 9 千年紀中ごろの新石器時代の遺跡である。さまざまなモチーフが描かれた T 字型の石柱をともしなう大型の円形建造物が有名である。これらの石彫や複雑かつ大型の建造物が、農耕や牧畜、土器製作が開始される以前に造られたという点で従来の人類史の定説を再考するうえで重要な遺跡として知られている。
4. マチュピチュ遺跡：ペルーのクスコ県にあるインカ期の遺跡である。標高 2300m を超える尾根上にあり、天文観測施設、宗教施設、テラス状の畑、水路、広場、住居などから構成される。インカ王や貴族の私領（郊外の王宮）と考えられている。早くから観光地化が進み、ユネスコの世界遺産にも登録されているが、ごみ問題や空港建設問題など文化遺産の保存と活用上の諸問題を抱えている。
5. ティカル遺跡：グアテマラのペテン県にありユネスコの世界遺産にも指定されている大都市遺跡である。先古典期中期から古典期終末期まで長い居住があり、大型の公共建造物群を中心に発展した。多数の石碑の解読や王墓の発掘などから、33 人以上の王が存在し、マヤ低地南部一帯に影響力をもった都市のひとつであった。王朝創始にはテオティワカンとの関係も示唆されており、広くメソアメリカ文明を考えるうえでも重要な遺跡である。

問題3(出題意図)：大学院において取り組む研究内容とその学術的意義について、論理的に説明ができる能力を問う。

問題4(出題意図) 今後ますます発展や活用が期待されている最新技術が文化遺産の保存や活用にもたらす影響についてどのような見識や意見をもっているかを問う問題である。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(3 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・○外国人・社会
試験科目	考古学		

問題1

(1) 大学院において自分自身が研究しようとする分野・テーマについて簡潔に説明しなさい。

(2) 次の用語の中から5つ選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。

①放射性炭素年代 ②水中考古学 ③細石刃 ④カムイ焼

⑤押型文土器 ⑥貝殻成長線分析 ⑦真脇遺跡 ⑧テフラ

⑨オホーツク文化 ⑩サキタリ洞穴 ⑪プラントオパール分析 ⑫縄文海進

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(3 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・○外国人・社会
試験科目	考古学		

問題 2 以下の文章を読み、(1)、(2)、(3)の設問に答えよ。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(3 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・○外国人・社会
試験科目	考古学		

Kate Britton and Michael P. Richards, *Archaeological Science An Introduction* Cambridge University Press, 2020, p.6, // 23-34, p. 7, // 1-30.から問題作成のために一部改変。

(1) 下線部①を日本語に翻訳せよ。

(2) 下線部②にある"legacy data"とは具体的に何を意味するか。簡潔に説明せよ。

(3) 自身の考古学研究に考古科学における分析がどの様に应用できるか、本文に記載された考古科学における分析の問題点を指摘しつつ、500 字以内で説明せよ。

問題 3

(1) 令和5年6月1日までに日本の「特別史跡」に指定されている遺跡を3つ挙げよ。

(2) (1)で挙げた3つの「特別史跡」について、具体的な出土遺物の説明を加えて、史跡の学術上の価値についてそれぞれ説明せよ。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 外国人留学生特別選抜
科目名 考古学 記載者氏名 覚張・足立・市川

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

（出題意図）博士前期課程で考古学を専攻する際に必要となる文章作成能力と基礎的な知識を問う。

（１）（出題意図）大学院前期課程において取り組む研究内容を、他者にわかりやすく簡潔に説明ができる文章作成能力を問う。

（２）（出題意図） 考古学において基本となる専門用語を的確に説明できる能力を問う。

（解答例）

①放射性炭素年代測定

生物遺体に含まれる放射性炭素（ ^{14}C ）の濃度を指標とした年代測定法のこと。 ^{14}C の半減期と初期値及び生物遺体の ^{14}C 濃度に基づいて理論的な放射性炭素年代値を算出し、形成された暦年がわかっている樹木年輪や湖沼堆積物の年縞などの放射性炭素年代値の較正曲線と対照させることで、生物が生存していた暦年代を推定する。

②水中考古学

沈没船や過去に水没した遺跡などを対象とした考古学の研究領域の一つ。水中に残る文化的、歴史的または考古学的な性質を有する人類の存在の全ての痕跡が研究対象となり、その一部あるいは全部が定期的あるいは恒常的に、少なくとも 100 年間水中にあった遺跡・遺物を主に対象としている。

③細石刃

主に黒曜石やチャートなどを素材とした、長さ 1～4 cm、幅 4～8 mm の小型で刃先が鋭い打製

石器で、日本では主に後期旧石器時代末から縄文草創期にかけて日本列島に広く分布していた石器群である。木や骨で作られた柄の溝にはめ込み、槍や鋸として使用する。細石刃は同じ形の石刃をまとめて作成するように細石刃核から剥離する技法で作成される。

④カムイ焼

鹿児島県の奄美群島徳之島で 11 世紀から 14 世紀にかけて作られていた陶器のこと。材質は硬く、表面は青灰色、陶土は赤褐色を呈する。器種は壺を中心として甕、鉢、碗などが見られ、ヘラ描波状文が施されているのが特徴である。

⑤押型文土器

主に縄文時代早期の日本列島に広く分布した土器形式の一つ。丸い棒に各種の彫刻を施したものを、生乾きの土器面に回転しながら押しつけて装飾とした土器で、文様には楕円文・山形文・格子文などがあり、器形は主に尖底・丸底の鉢形が多い。一部、九州南部や北海道東部などでは平底のものが縄文時代前期末～中期前葉まで存在している。

⑥貝殻成長線分析

貝類の成長にともなって構成された層状組織の縞の本数、縞の幅、縞の形状変化を観察することで、貝の死亡季節や死亡日の推定を行う分析法のこと。遺跡から出土した複数の貝の死亡季節を推定することで、当時の人々の貝利用及び貝廃棄における計画性の評価を行う。

⑦真脇遺跡

石川県能登町にある縄文時代前期から晩期まで継続した集落遺跡。多種のイルカの骨が見つかり、古くからイルカ漁が盛んであったと考えられている。縄文時代晩期には環状木柱列痕が見つかり、石川県加賀地方や富山県など北陸における文化的な類似性も見られる。

⑧テフラ

火山灰・軽石・スコリア・火砕流堆積物・火砕サージ堆積物などの総称。火山灰などの火山噴出物中のケイ素酸化物の組成や含有する微量元素、各種同位体比を分析することで、起源となった火山の特定を行う。

⑨オホーツク文化

続縄文時代の終わりから擦文時代に重なる 5～12 世紀頃、北海道のオホーツク海沿岸部を中心に分布していた文化。擦文文化の人々とは異なる外来の民族が残した文化で、オホーツク文化の遺跡はサハリン、北海道北部・東部から千島列島にかけての海岸沿いに分布する。主に漁撈や海獣狩猟など、北方における海の暮らしに特化した海洋民族と考えられている。

⑩サキタリ洞穴

沖縄本島南部の南城市に位置するガンガラーの谷にある旧石器時代から縄文時代の洞穴遺跡。約 2 万年前と考えられている世界最古の釣り針が見つかり、琉球列島における旧石器時代人の生業を研究する上で重要な遺跡として位置付けられている。約 2 万～3 万年前の後期旧石器時代人骨も見つかり、自然人類学の研究においても注目が集まっている遺跡である。

⑪プラントオパール分析

植物の細胞組織に存在する非晶質含水珪酸の形態の観察から、植物の種同定を行う分析法。遺跡内における土壌のプラントオパール分析から、古環境の復元や栽培植物利用などの生業形態の復元などに応用される。

⑫縄文海進

約 7000～5000 年前頃の縄文時代前期～中期に、現在に比べて海面が 2～3m 高くなり、日本列島の各地で海水が陸地奥深くへ浸入した現象のこと。この時期の日本列島は、今よりも数℃以上気温、水温が温暖な時期であったことも推定されている。

問題 2

(出題意図) 考古学に関連する内容の英語文章を読解できる基本的な英語能力を問う。

(1)

(解答例) 考古学は、一般的に研究手法の潜在的な弱点を見つけることに長けており、実際に、すべての研究領域において、特定の手法の限界や考古学的資料への応用の限界を理解することを専門に研究する分野がある(例えば、安定同位体研究における続成作用の研究など)。

(2)

(解答例) これまで報告書やデータベース上で報告されてきた放射性炭素年代測定及び同位体分析のデータなど、考古科学における研究で蓄積されてきた過去の膨大なデータ

(3) (出題意図) 考古科学における分析は、分析手法の限界や応用する際の問題点があり、個別の考古学研究では上手く利用できない場合も多い。考古学者は考古科学の手法的な制約を正確に理解し、より包括的な考古学情報の収集と考古学的な文脈を正確に理解することで、考古科学における分析手法の脆弱性を理解することも可能である。単に、分析ができることで全てがわかるという姿勢でなく、過去を復元するために、可能な限り俯瞰的な解釈ができるか、その学習姿勢を問う。

問題 3

(出題意図) 日本における考古学研究を学ぶ上で重要となる基本的な知識を問う。

(1) 令和5年6月1日までに文化庁によって登録認定されている特別史跡63地点のうち、3地点の史跡名を解答する。

(2)

(出題意図) 考古学における基礎的な知識とともに、学術上の重要性を正確に把握しているかを問う。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(2枚のうち1枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般
試験科目	日本語学(専門深化型プログラム日本語学日本文学)		

【日本語学選択者用】※日本古典文学、日本近代文学、日本語学のうち、研究計画書の希望研究テーマに応じた1分野を選択して解答します。

問題1

連濁および清濁に関する〔1〕から〔7〕の設問に答えなさい。

〔1〕. 次の複合語(a)(b)(c)(d)に共通する特徴を指摘しなさい。また、その特徴が生じる理由についても説明しなさい。

(a). 北風 (b). 髭鯨 (c). 気配り (d). 共稼ぎ

〔2〕. 〔1〕で示した(a)(b)(c)(d)のそれぞれの「北(きた)」「髭(ひげ)」「気(き)」「共(とも)」を前部要素に持ち、連濁する複合語の例を1語ずつ挙げなさい。

〔3〕. 次の例に示すような連濁は、単純語の語頭の清音が、複合語の後部要素に位置したときに濁音に交替する現象である。このような清音と濁音の交替を、現代日本語(共通語)の音声をもとに、音声学的な見地から解釈しなさい。

(例) トリ(鳥) → ウミドリ(海鳥)	タ行の子音 → ダ行の子音
(例) サカナ(魚) → カワザカナ(川魚)	サ行の子音 → ザ行の子音
(例) クリ(栗) → アマグリ(甘栗)	カ行の子音 → ガ行の子音
(例) ハナ(花) → タチバナ(橘)	ハ行の子音 → バ行の子音

〔4〕. 〔3〕で示した4つの清濁の交替のうち、音声学的な見地からすなおに解釈できない場合が1つある。そのような関係が形成された歴史的背景を具体的に説明しなさい。

〔5〕. 複合語の右枝分かれ構造と左枝分かれ構造の違いが、連濁の生起の仕方にどのように影響するかを、図を示しながら説明しなさい。

〔6〕. やまとことばの語頭には原則として濁音が現れないとされる。しかしながら、歴史的に語形が変化して、語頭に濁音が現れるようになった例が存在する。そのような例を2語挙げて、語頭に濁音が現れるようになった経緯を簡潔に述べなさい。

〔7〕. 上代から仮名文字形成までの時期について、文字上の清濁の書き分けがどのようなであったか、その歴史を簡潔に述べなさい。

(2 枚のうち 2 枚目)

(以下の問題については問題 2、問題 3、問題 4 のうちから 2 つを選んで答えなさい)

問題 2

次の (1) から (6) の例文を 2 つのタイプに分けなさい。その 2 つのタイプの間で、意味類型、テンス (時制)、場所を表す格成分の助詞にどのような違いがあるかを具体的に説明しなさい。

- (1) 花火大会がある。
- (2) 大きなホテルが 2 つある。
- (3) 反政府デモがある。
- (4) ふとん乾燥機がある。
- (5) 2 千円ある。
- (6) サッカーリーグの第 20 節の試合がある。

問題 3

促音と撥音との間の、音配列上の共通点と相違点を説明しなさい。

問題 4

中古漢語 (中国語) の韻尾の体系をわかりやすく表にして示しなさい。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 一般

科目名 日本語学（専門深化型プログラム・日本語学日本文学）

記載者氏名 高山知明

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

【1】. 出題意図：連濁についての基礎的な知識を問うとともに、問題発見に関する思考力を見る問題。予め濁音を持つ語が複合語の後部要素になるときには連濁が生じないこと（ライマン法則に関する知識）をわかりやすく説明することが求められる。

【2】. 解答例：「北口（きたぐち）」「ひげ面（ひげづら）」「気遣い（きづかい）」「共働き（ともばたらき）」（漢字表記だけでも可）

【3】. 出題意図：清濁に関する基礎的な知識を問うとともに、事実を正確に記述するための論述力（思考力と表現力）を見ることを意図する。ハ行とバ行を除き、清濁の対が、調音点を等しくすること、また調音方法についても概ね一定の対応関係を持つことを具体的に説明する（ガ行子音には鼻音が現れる場合があるなど、適宜注記する）。そして、無声子音（無声阻害音）に有声の特徴が付加されることにより、清音から濁音への交替が生じることが述べられていればよい。また、ハ行とバ行については、そのような関係に立たないことを具体的に述べる必要がある。

【4】. 出題意図：音韻史に関する基礎的な知識と、現代語の清濁のあり方との関係をわかりやすく述べる論述力を見る。清濁の対立に関して、現代語のハ行とバ行については他の三者と異なることが、どのような歴史的変化の結果に因るものであるか（具体的にはハ行子音の変化）を的確かつわかりやすく説明する必要がある。

【5】. 出題意図：複合語形成に関する構造が連濁生起の如何とどのような関係にあるかについて、理解しているかどうかを見る問題である。

【6】. 出題意図：例えば、「いづる」→「でる」（出る）、「たれ」→「だれ」（誰）など、具体的な語に関して、日本語の歴史に関する知識をどの程度持っているかを見る問題である。

【7】. 出題意図：木簡の表記に関する近年の成果も踏まえつつ、文字における清濁の書き分けがどのように変遷しているかを問う、日本語史（とくに文字の歴史）に関する問題である。

問題 2

解答例：動詞「ある」を述語とするこれらの例文は、(1) (3) (6) の (I) 物の存在を表すタイプ、(2) (4) (5) の (II) 出来事の種類を表すタイプに分けることができる。(I) は、発話時において物が存在する（している）ことを述べる文であるのに対し、(II) は、出来事が発話時以降すなわち未来に起こることが予定・予測されていることを述べる文である。また、例えば「駅前に大きなホテルが2つある」「財布の中に2000円ある」のように、(I) では物の存在場所を示すのに助詞「に」を用いるのに対し、(II) では、「有名店で食事する」「公園で遊ぶ」などの出来事を表す文と同じく、「七尾で花火大会がある」「県営競技場でサッカーの試合がある」のように出来事が起こる場所を示すのに助詞「で」を用いる。

問題 3

出題意図：促音と撥音の共通性と相違点を的確に整理して論述する力を見る。基礎的な知識を見ると同時に、問題発見と解決に関する必要な思考力、表現力を問う問題でもある。

問題 4

出題意図：日本漢字音を理解する上で不可欠の知識であることを踏まえ、中古漢語の特徴を問う。「体系」とあるので、韻尾の種類を的確に整理して示すことを求めている。

2024年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

第1期募集 入学試験問題

（2枚のうち1枚目）

専攻名【人文学専攻】選抜区分【一般】

試験科目【日本古典文学（専門深化型プログラム日本語学日本文学）】

【日本古典文学選択者用】※日本古典文学、日本近代文学、日本語学のうち、研究計画書の希望研究テーマに応じた1分野を選択して解答します。※解答は縦書きで記述してください。

問題一 次の①②を翻刻してください

（適宜、句読点を補い、行取りは原文のままにすること）。

①

②

問題二 中世における『源氏物語』の注釈について、
具体的な作品を挙げながら論じてください。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 一般

科目名 日本古典文学（専門深化型プログラム・日本語学 日本文学）

記載者氏名 猪瀬千尋

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題一

①

一 あこはしらしな。そのいよのおきなよりはさきに
みし人そ。されとたのもしけなくくひほそしとて、
ふつつかなるうしろみまうけて、かくあなすり給ふ
なめり。

あことは我子といふ心也。小君をかく源氏の君
のの給へる也。いよのおきなよりさきにみし
人そとは、うつせみ伊予介の妻にならぬ。さきに
我あひ給ひし人そとさもなき事を、小君に
の給ふなり。くひほそしとはひわつなる事也。ふ
つゝとは下すしくふとりなとしたるさま也。
我をはひわつに物けなしとて、ふつゝかなるうし
ろみの伊予介になれて、我をあなつりぬると
小君にかなしくおもはせむとて、の給へるなるへし。

②

本奥書自筆也

文明十七年のとし、児女子の
ためにしるしをき伝る
物なり。

宗祇（判）

問題二

『源氏物語』の本文は、時代を追うにつれ次第に難解となっていき、平安時代末期にはその注釈がつくられるようになった。現存するものとしては藤原伊行『源氏釈』や藤原定家『奥入』などがある。『奥入』では、音楽などの芸能について、諸家に勘申をした痕跡が残されている。中世には河内源氏のような、『源氏物語』の解釈を家学とするような家も生まれ、いくつかの注釈が編まれた。素寂『紫明抄』、行阿編『原中最秘抄』などである。室町時代初期にはそれまでの注釈や、種々の文献をまとめる形で四辻善成親王『河海抄』が編纂された。『河海抄』には「准拠」の語が散見されるが、これは物語中の事柄を、実際の歴史にあてはめようとするものであり、牽強付会ともとれる面もある。一方、室町期の古典学の巨人である一条兼良『花鳥余情』になると、『河海抄』に見える准拠論はなりをひそめ、次第に物語に何が書いてあるかという、現代に近い注釈がうまれてくることになる。三条西実隆『弄花抄』なども同様の傾向にあると言える。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(6枚のうち1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	中国語学中国文学		

問題1 次の文章は村上哲見『唐詩』の一節である。よく読んで、下の設問に日本語で答えなさい。

(村上哲見『唐詩』、講談社、1998年、第一章、pp35～37、一部改変)

- (1) 下線部A「建安の七子」のうち、五名を漢字で挙げなさい。
- (2) 下線部B「それは中国文学の、とくに詩の歴史において画期的な意義を有する」とあるが、どのような「画期的な意義」があるのか、「五言詩」という語句を用いて説明しなさい。
- (3) 下線部C「楽府」とはどのようなものか、知るところを述べなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(6枚のうち2枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	中国語学中国文学		

問題 2 次の杜甫「對雪」(『杜詩詳注』巻四)の詩とその注釈、そして、典拠の一つである『世説新語』の一節をよく読んで、下の設問に日本語で答えなさい。

(盛唐・杜甫「對雪」、仇兆鰲注『杜詩詳注』第二冊、中華書局、
2015 年、pp389～390、一部改変)

(余嘉錫箋疏『世説新語箋疏 修訂本』下冊、上海古籍出版社、
1993 年、p865)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(6枚のうち3枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ <u>外国人</u> ・社会人
試験科目	中国語学中国文学		

[語釈]

房琯……盛唐の政治家。至徳元載(756)、肅宗に宰相に任じられ、長安の奪還を図るが、陳陶斜(長安の西北の咸陽附近)で安祿山の軍に大敗した。杜甫は房琯を弁護して肅宗の逆鱗に触れ、後に左遷された(房琯事件)。

殷浩……東晋の政治家・軍人。桓温と「竹馬の友」であったが、後に対立した。山桑で姚襄と戦ったときに大敗し、その後、桓温に罷免を上奏され、官爵を剥奪されて庶人に落とされ、東陽郡信安県に移された。

(1) 下線部(a)をわかりやすい日本語に訳しなさい。

(2) 六朝小説について、また、『世説新語』について、それぞれ知るところを述べなさい。

(3) 「對雪」詩の内容について、注釈を踏まえ、説明しなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(6枚のうち4枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ <u>外国人</u> ・社会人
試験科目	中国語学中国文学		

問題3 次の文章を読んで、下の設問に日本語で答えなさい。

(『元刊全相平话五种校注』，钟兆华著，巴蜀书社，1990年，
第433頁第23行～第434頁第21行)

- (1) 下線部 (a) (b) をわかりやすい日本語に直しなさい。
- (2) 『三国志平話』はどのような作品か、また後世に与えた影響などについて知るところを述べなさい。
- (3) この場面から読み取れる登場人物(周瑜、諸葛亮、小喬)の性格、特徴について、あなたの考えを述べなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(6枚のうち5枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ <u>外国人</u> ・社会人
試験科目	中国語学中国文学		

問題4 次の文章は刘月华等『实用现代汉语语法（増訂本）』からの抜粋であり、結果補語を含む文の構造的特徴について論じている。よく読んで、下の設問に日本語で答えなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(6枚のうち6枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ <u>外国人</u> ・社会人
試験科目	中国語学中国文学		

(刘月华等,『实用现代汉语语法(增订本)』,商务印书馆,
2001年,539頁,13行目ー540頁,24行)

- (1)文章中の下線部(a)を日本語に訳しなさい。
- (2)次のような例に対して、文章中の下線部(b)と同様の説明が適用可能かどうかを考察し、その結果と理由について、表現の文法的特徴に基づきながら記述しなさい。
- 他昨天没吃晚饭。
我没看那本书。
- (3)下線部(c)中の“动补短语”について、①の例文“他看见了一个人。”においてはどの語句がこれに該当するか、例文中から抜き出して記入しなさい。
- (4)下線部(d)について、この説明に該当すると考えられる非文法的な文を、②“他跑丢了一只鞋。”や③“这件事听了叫人笑破了肚皮。”の例文の一部を改変して二つ作例しなさい。
- (5)下線部(e)の主旨について、文章全体の関連する記述を踏まえながら解説しなさい。その際、“搞生产”を含む文を作例した上で、これと、例文⑤“人人努力搞好生产。”及び⑥“四人帮搞乱了革命和生产。”との比較を交えて具体的に述べること。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 外国人特別選抜

科目名 中国語学中国文学 記載者氏名 原田 愛

解答例又は出題意図

問題 1

村上哲見『唐詩』（講談社学術文庫）の一節より出題。李白や杜甫を代表とする「唐詩」に至る重要な分岐点となったのが「建安の文学」であり、それを中心に中国古典文学史に関する総合的な知識と、文学史的な意義を読み解く力、およびそれを説明する日本語表現力を判断する。

（1）中国古典文学史の基礎的な知識を見る設問。「建安の文学」を担った主要人物を明らかにできているかを見る。

（2）中国古典文学史の総合的な知識を見る設問。「漢詩」の歴史を見ていく中で、「建安の文学」は画期的な変化と意義を持つことになった重要な分岐点であり、それが唐詩にも大きな影響を与えた。それが「五言詩」の重要性と「作者」の意識の変化であるが、それらの内容と背景を認識しているかを問いたい。

（3）中国古典文学史の総合的な知識を見る設問。いわゆる古体詩において、もう一つの重要な形態が「樂府」である。それについての知識、そして、それを説明する力が問われる。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 外国人特別選抜

科目名 中国語学中国文学 記載者氏名 原田 愛

解答例又は出題意図

問題 2

盛唐の詩人杜甫の「對雪（雪に對す）」詩と『杜詩詳注』における注釈、その出典となる『世説新語』の一節より出題。中国古典文学に関する基礎的な知識、詩文を総合的に解釈する読解力とそれを説明する日本語表現力を判断する。

（1）中国古典文学の文章を現代の日本語で訳する基本的な語学能力を見る設問。今回の作品の詩句において、基本的な情報を認識し明らかにできているかを見る。

（2）中国古典文学史の基礎的な知識を見る設問。六朝時代においては、詩のみならず、小説にも大きな変化があり、後代の小説にも大きな影響を与えた。一つは『搜神記』などの志怪小説、そして、一つが『世説新語』に代表される志人小説である。それぞれの内容や背景の違いを認識しているかを問いたい。

（3）盛唐・杜甫の「對雪」の説明によって、詩文を総合的に解釈し、それを表現する力を見る設問。中国古典文学は、注釈や典拠によって読み解き、解釈することが行われる。この設問により詩文全体を総合的に解釈する読解力、知識、そして、それを説明する表現力が問われる。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 外国人特別選抜

科目名 中国語学中国文学 記載者氏名 上田 望

解答例又は出題意図

問題 3

元代の小説『全相平話三国志』より出題。中国文学史に関する基礎的な知識、中国語の文章の読解力、日本語の表現能力を見る設問。

（1）下線部の文白混淆体の文について、引用された文章全体を踏まえ、下線部に出てくる「周瑜」、「諸葛亮」、「劉備」、「曹操」、「孫権」、「魯肅」の人間関係と名高い赤壁の戦い前夜という歴史的背景を把握し、『三国志演義』や『三国志』の知識なども利用しながらわかりやすい日本語に翻訳できるかを見る。

（2）中国白話小説史に関する基礎的な知識を見る設問。元至治年間に建安で刊行された上図下文本『全相平話五種』の一つである『全相平話三国志』は、分量こそ現行の『三国志演義』の十分の一以下であるが、その多くの物語は『三国志演義』に継承されるかたちで後世に大きな影響を及ぼしたこと、主要な登場人物や話柄にみる同時代の元雜劇との関連性、『三国志演義』とは大きく異なる物語全体の主題、構造や文体などについて論述できているかを見る。

（3）中国古典文学の基礎的な知識を踏まえて、文章を読み解く力を見る設問。引用文中の主要な登場人物である周瑜、諸葛亮、小喬について、彼らのセリフを正確に読み解き、史実や『三国志演義』とも違う、荒々しい異形のキャラクターとして造形されていることを把握したうえで、読書人ではなく講釈師などの手によって作られた民間の物語である可能性など、この小説の特徴について自分の考えを論述できているかを見る。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 外国人留学生特別選抜

科目名 中国語学中国文学 記載者氏名 加納希美

解答例又は出題意図

問題 4

現代中国語文法の主要な概説書から出題。基本的なフレーズ構造について、その意味的、文法的特徴を理解するための知識を問い、記述内容の論理関係を正確に読解して概括したり、明快に説明したりする力を問う問題。

(1)

解答例：結果補語は動作や変化が結果を伴うか否かを表すため、その否定形式には一般に“没”を用いる。結果補語を否定する場合は、“没”を述語動詞（もしくは形容詞）の前におかなくてはならない。“没＋動詞＋結果補語”は、動作に何らかの結果がもたらされなかったことを表す。

意図：中国語学の分野における基本的な専門用語含む、やや複雑な構造の文を読解し、その内容を日本語で正確に表現する能力を問う。

(2)

解答例：“他昨天没吃晚饭。”“我没看那本书。”において、それぞれの述語動詞の“吃”、“看”はどちらも結果補語を伴わず、否定詞の“没”を用いると動作の実現そのものが否定される。このため、これらの文に対しては、“没”を用いても動作の実現そのものは否定されない、という動詞が結果補語を伴う文に対する説明を適用することはできない。

意図：文中における結果補語の有無により、否定の対象となる成分が異なるという下線部の記述の主旨を正確に理解していることを問う。

(3)

解答例：看见

意図：“动补短语”「動補フレーズ」という基本的専門用語について正確に理解していることを問う。

(4)

解答例：他跑了一只鞋。这件事听了叫人笑了肚皮。

意図：「自動詞は単独で目的語をとることができない」という下線部の記述の主旨を、その後に続く記述内容「自動詞が結果補語を伴う場合は目的語をとることができる」との対比を踏まえて正確に理解できていることを問う。

(5)

解答例：結果補語を伴わない“现在可以专心搞生产了。”のような文においても、結果補語の“好”を伴う“人人努力搞好生产。”のような文においても、“搞”は目的語の“生产”に対して「従事する、携わる」という意味をもつ。しかし、結果補語“乱”を含む文““四人帮”搞乱了革命和生产”の場合、動詞の“搞”は目的語の“生产”に対して「従事する、携わる」という意味を持たず、「乱すようにする」という意味を表す。述語動詞が結果補語を伴う場合、目的語との意味関係は、動補フレーズ全体を単位として解釈されるため、結果補語を伴う場合と伴わない場合とでは、このように述語動詞と目的語との意味関係が大きく異なることがある。

意図：他動詞であっても、結果補語を伴うか否かによって、目的語との意味関係が大きく異なりうる（異なる場合もある）という下線部の記述の主旨、及び、動詞が結果補語を伴う場合には、当該フレーズ全体を一つの単位と見做し、他の成分との意味的關係を捉える必要がある、という抜粋部分全体の要点を正確に解釈し、これを論理的に説明する能力を問う。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(2枚のうち1枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般選抜
試験科目	外国語問題(英語)		

問題1 以下の英文を自然な日本語に訳しなさい。

Robert L. Patten, "From *Sketches* to *Nickleby*," in *The Cambridge Companion to Charles Dickens*, ed. John O. Jordan, Cambridge: Cambridge University Press, 2001 (rpt. 2009), p. 16, ll. 1-15.

<NOTES>

- ・ Dickens : Charles Dickens (1812-1870)
- ・ rake in : make a lot of money
- ・ inauguration : launch, beginning
- ・ vocation : profession, occupation
- ・ pseudonym : assumed name, pen name
- ・ letterpress : printed text

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(2枚のうち2枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般選抜
試験科目	外国語問題(英語)		

問題2 以下の枠内の英文を自然な日本語に訳しなさい。

Paul Ibbotson, *What it Takes to Talk: Exploring Developmental Cognitive Linguistics*, Berlin/Boston: De Gruyter Mouton, 2020, p.28, ll. 9-34.

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 一般選抜

科目名 外国語問題（英語） 記載者氏名 堀田・渋谷・宮澤

出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1・問題 2

出題意図：

2つの異なるテーマで書かれた英文をそれぞれ日本語に訳すことにより、本専攻で学ぶ上で必要となる基本的な英文読解力を備え、論旨を踏まえた正確な解釈ができているかを問う。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(2 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	○一般・外国人・社会人
試験科目	比較文化学		

問題 1 以下の文章を読み、筆者の述べるような「固有の文化」に対して、どのような比較文化的な研究方法が考えられるか、具体的な例をあげて述べよ。

(佐藤弘夫「聖なるものへ:超越の思想／抵抗の思想」『岩波講座 日本の思想 第8巻 聖なるものへ:躍動するカミとホトケ』岩波書店、2014年、p. 3, l. 4 - p. 4, l. 14).

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(2 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	○一般・外国人・社会人
試験科目	比較文化学		

問題2 以下の英文を和訳せよ。

(Thomas, Louis-Vincent, Funeral Rites. Translated from French by Kristine Anderson, In Lawrence E. Sullivan ed., *Death, Afterlife, and the Soul*. New York: Macmillan Publishing Company, p. 31, ll. 4-30)

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 比較文化学 記載者氏名 森雅秀

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

（出題意図）

問題 1

日本のカミ観念を「固有の文化」としてとらえることの是非をあつかった文書を読むことで、比較文化学の基本的な問題である文化の相対性について、それを分析するための具体的な方法論を確認する。

問題 2

葬送儀礼をあつかった入門的な英文を和訳させることで、基礎的な語彙力と英文読解力を判定する。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(2 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	☐ 一般 ・ 外国人 ・ 社会人
試験科目	比較文学		

1. 基礎問題

問題1

文学研究と自然科学研究は、知識をめぐるアプローチにおいて、どのように違っていますか。具体例を挙げて説明してください。また、そのうえで、文学研究が社会においてもつ意義について述べてください。

問題2

ある文学作品がどこの国のものかを判断するには、どのような基準が必要ですか。また、作品が帰属する国を決定することに意味はあるのでしょうか。想定し得る反論も考慮したうえで、具体例を挙げて、あなたの意見を述べてください。

(2 枚のうち 2 枚目)

専攻名	比較文学	選抜区分	☐ 一般 ・ 外国人 ・ 社会人
試験科目	基礎・専門問題		

2. 専門問題

問題1

日本文学史を通じて、フランス文学が日本文学に与えた影響について、あなたの知っている具体例（作家・作品など）を挙げて解説してください。

問題2

フランスを中心に展開したシュルレアリスム運動は、どのような点で第一次大戦に対する批判と言えますか。具体例を挙げて、説明してください。

問題3 次のフランス語文を日本語に翻訳してください。

(Jean-Yves Tadié, « De la culture à la création », *De Proust à Dumas*, Gallimard, 2006, p. 379.)

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般選抜

科目名 比較文学 記載者氏名 岩津 航

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

1. 基礎問題

問題 1

文学研究が、さまざまな研究全般のなかでどのような意義を有しているかということについての認識を問う。また、具体例を通じて、文学および知的領域全般に関する知識と、それを思考に応用する能力を確認する。

問題 2

文学に関係する政治性についての認識を問う。また、具体例を通じて、文学全般に関する知識と、あらかじめ想定される反論へ対応する能力を確認する。

2. 専門問題

問題 1

日本文学史およびフランス文学史の基礎知識を確認し、両者の交流の実態についての具体例を通じて、比較文学的関心と知識を確認する。

問題 2

フランス文学史のうち、受験者の関心が高いと思われる時代に特定した出題を通じて、文学と社会の関係についての認識を問う。

問題 3

フランス語の読解能力を確認する。とくに、テキストで述べられている「知識の広さと深さの逆説」に関して正しく理解できているかどうかを確認する。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(3 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	外国人
試験科目	ジェンダー学		

(回答の際の注意) 以下の問題1から問題3について、それぞれ別の回答用紙に回答してください。

問題1 以下の英文は、アメリカやイギリスにおける男性性の歴史を中心に扱った文献からの引用です。読んで続く問題に答えなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(3 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	外国人
試験科目	ジェンダー学		

(Kimmel, Michael S. *The History of Men: Essays in the History of American and British Masculinities*. State University of New York Press, 2005, p. 38, l. 4 – p. 39, l. 12. を一部編集して引用)

- <1> 下線部(1)にある "Two models of manhood"とは本文の中ではそれぞれどのようなものか説明しなさい。
- <2> 下線部(2) "Henry Clay called America 'a nation of self-made men'"とあるが、アメリカにおけるいわゆる "self-made man" の重要性について、その代表的な人名を必ず複数挙げつつ説明しなさい。
- <3> 下線部 (3)について、どのようなことを表しているのか、具体的に説明しなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(3 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	外国人
試験科目	ジェンダー学		

問題2 フェミニズムに関する次の問いに答えなさい。

＜1＞ 第四波フェミニズムとはなにか、第一波～三波フェミニズムまでの相違点を含めて簡潔に説明しなさい。

＜2＞ 第四波フェミニズムとソーシャルメディアの関係について、具体的な事例か運動を挙げて説明しなさい。

問題3 ジェンダー研究に関する次の問いに答えなさい。

＜1＞ ジェンダー研究の特徴や意義・固有の難しさについて、人文社会科学領域における他の研究分野をひとつ取り上げ、それと比較しながら説明しなさい。

＜2＞ ジェンダー研究において実証的分析が果たす意義について、比較的知られている研究書で示された成果の例を挙げながら説明しなさい。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 外国人

科目名 ジェンダー学 記載者氏名 岩本健良、飯田玲子、久保拓也

解答例又は出題意図

問題 1（出題意図）

- （1）英語文献の抜粋から、求められる情報を正確、かつ迅速に読取り、それを的確に記することができる能力を試す。
- （2）米国の男性像を歴史的に考察する上で重要とされる事項を問い、米国の成り立ちとジェンダーの関係を正しく述べられるかを問う。
- （3）資本主義が発達する中での男性性の変化について、文献から読み取る情報と自らの知識をあわせて正しく述べられるかを問う。

問題 2（出題意図）

- （1）フェミニズムの歴史的な背景や議論の変遷についての基本的な知識の確認と、いわゆる「第四波」と呼ばれる現在の議論を理解しているかどうかを把握するものである。
- （2）次に、第四波フェミニズムの実践のソーシャルメディア上での展開について、代表的な事例（e. g. #MeToo 運動）を挙げて説明させることで、第四波フェミニズムの現在について理解しているかどうかを評価するものである。

問題 3（出題意図）

- （1）学際的領域であるジェンダー学について、他のディシプリンと比較してその特徴・意義・固有の難しさを説明させることで、本人のベースとなる視座や枠組みを問うとともに、ジェンダー学分野における研究能力やレディネスを診る。
- （2）ジェンダー研究における実証的先行研究の著作と内容を説明させることで、大学院における実証研究の基盤となる能力や知識の習得の程度を測る。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(4枚のうち1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般
試験科目	文化遺産学		

以下、すべての問題に回答すること。

大問1 次の英文を読んで以下の問いに答えなさい。

※¹ a type of Ottoman tower house introduced after the Ottoman conquest in the Middle Ages.

※² a city in Kosovo where the Patriarchal see of Serbian Orthodox Church was established during the Middle Ages.

出典：Anne-Françoise Morel, "Identity and Conflict: Cultural Heritage, Reconstruction and National Identity in Kosovo," *Architecture Media Politics Society* 3-1 (May 2013), UCL Press, pp. 3-4.

問1 下線 (1) を日本語に訳しなさい。

問2 下線 (2) を日本語に訳しなさい。

問3 下線 (3) を日本語に訳しなさい。

問4 下線 (4) について、同様に評価されうる文化遺産を一つ挙げ、なぜそのように評価できるのかを日本語で簡潔に説明しなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(4枚のうち3枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般
試験科目	文化遺産学		

大問2 下図を見て以下の問いに答えなさい。

図1

図2

図3

(図版出典：問題作成者により撮影)

問1 図1と図2の場面について、図像学的な名称を答えなさい。

問2 年記により図1は1006年(または1021年)、図2は1060/61年と年代が判明している。こうした作例を何と呼ぶかを美術史の用語を答えなさい。

問3 図3は11世紀の作例とされる。図1～3を様式的に比較分析した上で、図3が図1と図2のどちらに近似するかを考察しなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(4枚のうち4枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般
試験科目	文化遺産学		

問3 以下の語群から任意の用語5つ選択し、簡潔に説明しなさい。

- 1) イコノロジー
- 2) マイエスタス・ドミニ
- 3) コディコロジー
- 4) フレスコ
- 5) イコン
- 6) 文化的景観
- 7) 「代表性・均衡性・信頼性のある世界遺産一覧表のためのグローバル・ストラテジー」
- 8) 文化財登録制度
- 9) グッゲンハイム効果
- 10) オーバーツーリズム

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 文化遺産学 記載者氏名 菅原裕文、谷川竜一

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

大問 1：英文の読解力と文化遺産への広い関心を問う問題である。

問 1 その最も明白な理由は二つある。第一に建造環境を破壊することで帰還の可能性を減らすこと、第二に退去させられたコソヴォのアルバニア人コミュニティとその歴史の可視的な証拠をすべて除去する手段であったということである。

英語の文法に関する理解と語彙力を確認する。

問 2 正教会の宗教建築はこの地域にセルビア正教が存在したという最も重要な象徴であった——今もそうである——が、そういうものとして当然の報復対象となった。

英語の文法に関する理解と語彙力を確認する。

問 3 歴史的な誤解により、多くのセルビア正教会の修道院がセルビア教会に強制接収される以前は元々アルバニアの宗教的建造物であったという誤った思い込みが生じた

英語の文法に関する理解と語彙力を確認する。

問 4 専門外の文化遺産についても広く問題意識・関心をもっているか、また知識だけではなく簡潔に要点をまとめうるプレゼンテーション能力を問う。

大問 2 美術史の基本的な知識と素養を問う問題である。

問 1 図像学の基礎を当問題である。

図 1 受胎告知

図 2 聖墳墓参り（空の墓、携香女、ミロフォロス、いずれも正答）

図2 様式分析に必要な用語を問う問題である。

正答：基準作例

問3 美術史に必須の作品記述の基礎力と様式分析の基礎を問う問題である。

図3は図2の作例に近似する。ただし、この問題は正答を導くことを主目的としていない。作品に見られる諸特徴を的確に言葉で説明することができるかが第一の評価点である。第二の評価点は作品の比較方法が適切であるかとなる。正答と異なる回答がなされていても、上記の2点を踏まえて、論理的に解答がなされていれば評価対象となる。

大問3 美術史・建築史の概念や用語に関する基礎知識を問う問題である。以下に解答例を記す。

1) イコノロジー。

エルヴィン・パノフスキーが『イコノロジー研究』において示した図像解釈の方法論である。モチーフの組み合わせからイメージ・物語・寓意などを認識する図像学に対し、これら作品の特質を国家・時代・階級・宗教・思想などからなる基礎的態度の徴として象徴的に解釈する。

2) マイエスタス・ドミニ。

旧約の預言者が幻視した終末における神の再臨を図像化したものである。マンドルラを帯びたキリストは玉座、あるいは球体に坐し、右手で祝福し、左手に福音書をもつ。キリストの周囲には翼を持つ人・獅子・鷲・雄牛の象徴が配され、ケルビムやセラフィム、大天使が位階的に配される場合もある。

3) コディコロジー。

冊子本写本を物理的・構造的側面から研究する学問領域を指す。本の考古学とも呼ばれる。冊子本のサイズ・フォリオ・コラム数・行数・ヘッドピースの他に、古書体学や図像学とも組み合わせて写本の制作環境などを研究する。

4) フレスコ。

壁に直接絵を描く絵画技法を指す。フレスコには乾いた漆喰に顔料をバインダーと混ぜて描く乾式

の「フレスコ・セッコ」と、生乾きの漆喰に水や石灰水で溶いた顔料で描く湿式の「ブオン・フレスコ」とがある。

5) イコン。

ギリシア正教において崇敬の対象となる宗教的な板絵を指す。「像」を意味するギリシア語のエイコンを語源とし、広義には壁画や写本挿絵もこれに含まれる。テンペラを用いるのが主流であるが、古くは蜜蝋を媒材に描かれていたこともある。8～9世紀のいわゆるイコノクラスムを通じて高度に様式化され、以後ビザンティン様式の基礎を形成した。

6) 文化的景観。

文化的景観とは、日本の文化財保護法では「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの（文化財保護法第二条第1項第五号より）」とされる。人間と自然の相互作用を重視し、モノとしての建造物や都市・村落空間にとどまらず、生業や文化、自然環境までをも包括的に捉える見方。

7) 「代表性・均衡性・信頼性のある世界遺産一覧表のためのグローバル・ストラテジー」。

ユネスコ世界遺産委員会が、世界遺産の地域的な偏りを是正することを目的として1994年に打ち出した政策指針のこと。記念碑的な建造物などを主体とした西洋的文化遺産概念の見直しを求めるもので、その結果、「生きている遺産」や「文化的景観」などが重視されるようになり、同時に地域住民の積極的な関与なども世界遺産の維持・管理において求められることとなった。

8) 文化財登録制度。

地域に親しまれている建物や、時代の特色をよく表わしたものの、あるいは再び造ることができないものなどを守り、地域の資産として活かすための制度。国の重要文化財のような厳しい選定基準では捕捉しきれないようなものを拾い上げ、緩やかな規制の下で幅広く保護・活用していくこと目指し、1996年の文化財保護法の改正により導入された。

9) グッゲンハイム効果。

1990年代後半に、ポスト工業化の流れのなかで産業が衰退したスペイン・ビルバオは、グッゲンハイム美術館の分館を誘致し、インパクトのあるデザインのミュージアム建築を核として都市再生を図った。試みは成功し、ミュージアムが都市再開発や観光産業に対して大きな効果的役割を果たす

ことを内外に示すこととなった。この効果をグッゲンハイム効果と呼ぶ。

10) オーバーツーリズム。

観光地の許容能力以上の観光客が押し寄せ、過剰な混雑やゴミ問題など、その地の地域社会から自然環境にまで様々な弊害が生じることをいう。ヴェネチアやバルセロナなどでは、人口の数十倍、数百倍の観光客が押し寄せており、日本でも京都や沖縄などで顕在化している。

以上

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

10月入学 入学試験問題

(2枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	文化遺産学		

問題1 次の英文を読み、(1)(2)の問いに答えなさい。

(出典: Mark Aldenderfer, "Typological Analysis." in Brian M. Fagan et al. eds., *The Oxford Companion to Archaeology*, pp. 727-728. Oxford University Press, 1996. 項の1～13行目および25～33行目)

(1) 英文をすべて日本語に訳しなさい。

(2) 文の最下行にある *attributes* の考古学用語としての意味を簡潔に説明し、「型式(type)」との関係を述べなさい。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

10月入学 入学試験問題

(2枚のうち 2枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	文化遺産学		

問題2 次にあげる(1)～(8)の用語のうち 4 つを選び、それぞれについて簡潔に説明しなさい。解答には選んだ番号と用語を明記すること。

- (1) 世界遺産(World Heritage Site)
- (2) 文化浄化(cultural cleansing)
- (3) 気候最適期(hypsithermal)
- (4) 地層累重の法則(law of superposition)
- (5) レプリカ・セム法(réplica-SEM method)
- (6) 肥沃な三日月地帯(Fertile Crescent)
- (7) カイト・サイト(kite site or desert kite)
- (8) ロゼッタ・ストーン(Rosetta Stone)

問題3 自身の研究計画を遂行することでどんな学術的貢献が期待できるのか、学界における現在までの研究動向を踏まえながら述べなさい。

問題4 自身の研究計画において対象とする予定の文化遺産と、それが存在する土地で暮らす人びととの関係性について、論じなさい。

2023 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

10 月入学 学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 文化遺産学 記載者氏名 小高 敬寛

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

(1) 型式学的分析は、考古学研究における基本的なプロセスであり、形態・構造・装飾や様式、内容物、用途、もしくはこれらの組み合わせの類似性に基づいて、物質文化を型式へと体系的に配列することと定義される。絶対年代測定技術が登場する前は、層位学的な発掘と組み合わせた型式学的分析が、考古学者が文化史的なシーケンスを構築したり、あるいは時間の経過を測定したりする唯一の手段であった。このアプローチの前提となるのは、一つの地域内において、類似した形態や様式の人工物は時間的に互いに近接しており、様式的な変化は漸進的もしくは進化的であるに違いないということである。

型式学的分析は歴史的に編年構築や様式概念と関連しているが、これらのためだけに限定されるものではない。型式学は、考古学的記録の中で遭遇する特定の問題に対処するために、考古学者によって創られた恣意的な構成物である。人工物の分類に、一つの「正しい」ないし「最善」の型式はない。型式学的分析は、研究対象資料の特定の属性がそれらの資料を型式に分類するうえで重要である、という認識に基づいている。

(2) 「attributes」は日本語で「属性」と言い、考古資料に認められる何らかの特徴のことである。通常、色調や寸法などといった細分できない単位での特徴を指し、考古資料の型式は特定の属性の組み合わせによって規定される。

問題 2

(1) 世界遺産とは、1972 年のユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（世界遺産条約）に基づいて世界遺産リストに登録された、人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」（OUV）をもつ物件のこと。「文化遺産」「自然遺産」「複合遺産」の 3 種に分類される。

(2) 文化浄化とは、民族・宗教・思想など特定の文化的背景をもつ集団が、他の文化的集団の、ないし自集団の考えに反する文化財・文化遺産を破壊したり、あるいはそうした文化的活動を阻害したりする行為のことである。

(3) 気候最適期とは、およそ 7000 年前から 5000 年前までの完新世で最も温暖であった時期のことである。北半球の氷床が融解したため、世界的に海水準が上昇した。日本ではこの現象を「縄文海進」と呼んでいる。

(4) 地層累重の法則とは、地層は基本的に重力に従って下から上に向かって堆積する、すなわち上にある地層より下にある地層の方が古い、という法則である。17 世紀に提唱されて以来、地層同定の法則とともに、地層の新旧や相対年代を判断するうえでの大原則となっている。

(5) レプリカ・セム法とは、考古資料に残る圧痕などの凹凸をシリコン樹脂に転写し、走査型電子顕微鏡を用いて観察する研究手法のことである。1990 年代初頭に開発され、土器に残る植物や昆虫の圧痕から種を同定したり、石器の失われた剥片や石核を推定したりするために使われる。

(6) 肥沃な三日月地帯とは、メソポタミア低地の西と北のザグロス山脈西麓からタウロス山麓、そしてシリア・パレスチナの地中海東岸までの地理的範囲を指す。比較的湿潤で動植物相の豊かなステップ平原や丘陵からなり、新石器化の初現地とされる。

(7) カイト・サイトは、洋風に似た平面形を持つ大型の列石遺構である。西アジアの乾燥地域を中心に広く分布し、有蹄類の群れを捕獲する追い込み罠の畧と解釈されるのが一般的である。年代決定の証拠に乏しいのが通例だが、新石器時代～青銅器時代に位置づけられることが多い。

(8) ロゼッタ・ストーンは、18 世紀末のナポレオン軍によるエジプト遠征の折に発見され、現在は、大英博物館に所蔵されている、プトレマオス朝時代の石碑。同じ文章が 3 種の文字（ギリシア文字、古代エジプトのヒエログリフとデモティック）で刻まれていたため、古代エジプト語の解読に成功する鍵となった。

問題 3

（出題意図）学史的背景と現在の研究動向、そして自身の学術的な立ち位置への意識の高さと理解

の深さを審査する。

問題 4

（出題意図）自身の志す研究の社会的意義や現代世界との関係性への意識の高さ、そして異文化に対する理解の深さを審査する。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(8 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	☐ 一般・外国人・ ☒ 社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

問題1～6について指示に従って回答してください。なお、解答用紙には問題の順番に回答を行い、どの問に対する解答かわかるように記述してください。

【問題1】次の英文を日本語訳しなさい。

出典：Chein, L., Albert, D., O'Brien, L., Uckert, K., and Steinberg, L. (2011). Peers increase adolescent risk taking by enhancing activity in the brain's reward circuitry. *Developmental Science*, 14(2), 1-10.

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(8 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	☐ 一般・ ☐ 外国人・ ☒ 社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題 2】 次の複数の Abstract を読み，以下の問 1～4 に答えよ。

A:

Trompeter et al. (2022). Emotion dysregulation and eating disorder symptoms: Examining distinct associations and interactions in adolescents. *Research on Child and Adolescent Psychopathology*, 50, 683-694.

B:

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(8 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	☐ 一般・ ☐ 外国人・ ☒ 社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

Herle et al. (2020). A longitudinal study of eating behaviours in childhood and later eating disorder behaviours and diagnoses. *The British Journal of Psychiatry*, 216, 113-119.

C:

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(8 枚のうち 4 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

Osborne et al. (2022). The role of emotion regulation in the relationship between mindfulness and risk factors for disordered eating: A longitudinal mediation analysis. *International Journal of Eating Disorders*, 56, 458-463.

問1 上記の論文を読解するうえで、摂食障害群を理解しておく必要がある。AN, BN, BED の違いを説明せよ。なお、上記の Abstract にはこの内容は示されていない。

問2 各論文の概要を説明せよ。また、各論文の弱み（限界）も併せて示せ。

問3 下線部①はどのような分析を行っているかを説明せよ。加えて、この記述では、結果の詳細は理解できないと思われる。どのような情報が必要であるかを論じよ。

問4 下線部②を説明し、分析方法に則し結果を図示せよ。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(8 枚のうち 5 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題3】(1)～(5)の中に入る適切な語句を答えよ。

- C. Rogers が提唱した“セラピストの3条件”のうち, A. Axline が示したプレイセラピーの原則に含まれない条件は(1)である。
- (2)モデルは古典的条件づけを説明する理論であり,
ある試行での条件刺激と無条件刺激の連合強度の変化量＝無条件刺激の明瞭度×(連合強度の最大値－これまでに獲得された条件刺激と無条件刺激の連合強度の総量)
であることを示す。
- (3)は交感神経系を活性化する脳内の神経伝達物質であり, ストレス反応により活性化され, 視床, 視床下部, 扁桃体, 前頭前野などに投射して不安やパニック等の行動を引き起こす。
- 限局性学習障害のうち, 「読み」, 「書き」に難しさがある障害を(4)と呼ぶ。
- 生後9ヶ月ごろより, 他者(大人)が注意を向けているものに対して, 子ども自身も注意を向け, 関心を共有することができるようになる行為を(5)と呼ぶ。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(8 枚のうち 6 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題4】以下の空欄①-⑩に適切と思われる語句を回答せよ。なお、⑨は3つの語句で回答するものとする。解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。

心理アセスメントを選定するうえで、心理職者として、尺度や検査が有する信頼性と妥当性を検討することは重要である。信頼性は①や②に関する指標である。①を評価する信頼性の一つとして③があり、その指標としてはCronbachの α 係数やMcDonaldの ω 係数が知られている。②を評価する信頼性として、④がある。この信頼性は⑤をはじめとする変数に対して使用されることが多い。また、観察法に関する信頼性として、 κ 係数などの⑥が用いられることもある。

妥当性は尺度が⑦を適切に測定しているか否かに関わる。妥当性にも様々な種類がある。⑧は尺度の構造と測定ターゲットとなる変数の⑦が合致しているかに関する妥当性である。例えば、職業性ストレス簡易調査票に代表されるストレス評価尺度の場合、⑨に関する3下位尺度で構成される場合に、⑧があると判断される。また、外的基準との相関に基づき評価される妥当性として⑩がある。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(8 枚のうち・7 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題5】以下の事例に対する問1～3に解答せよ。

3歳1ヶ月の男児Aは、母親とともに市内の保健センターで実施されている3歳児健診を受診した。健診を担当した保健師からの勧めで、Aは市内の発達支援センターを訪れた。発達支援センターの公認心理師は、Aとの面接の中で、Aには言葉の遅れがあり、課題に集中して取り組むことが難しい様子を認めた。また、母親への聞き取りでは、Aが幼稚園では友達ができないこと、保育士や両親が言葉で説明してもその指示がうまく理解できないこと、そして、時折自分の思い通りにならないような事態が生じると癇癪を起こすことなどが報告された。

Aには上述の特徴や問題があるものの、母親はAに対して愛情を感じており、育児にも積極的である様子がみてとれた。しかし、Aの家族は、父親の転勤により1年前に市内に引っ越してきて、母親には気軽に育児の話や相談ができる相談相手や知り合いがいない状況であった。また、Aのこういった特徴が自分の子育ての仕方による問題で生じているのではないかと、不安に思う様子がみられた。父親も、日ごろより母親からAの様子を聞き、育児にも積極的に参加する姿勢をみせているが、仕事が忙しく、母親がAの育児の大半を一人で行なっている状況である。

問1 事例の中で示されたAの特徴を引用しながら、Aに対して疑われる発達的な問題について解説しなさい。

問2 Aに対して実施できる心理検査、発達検査、また、観察として適切なものをあげ、その理由を示しなさい。

問3 Aと母親に対して提供できる支援の可能性を書き、その理由を説明しなさい。また、リファー先として、適切な機関があれば書きなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(8 枚のうち 8 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題6】以下の実験研究の方法についてデータの分析方法・分析結果の解釈に影響する問題点を5つ指摘し、さらにそれぞれの問題点に対する改善方法も回答せよ。

※問題点は問題文に示されている情報に基づいて指摘してください。

心理療法 A はすでに有効性が確立している心理療法 B と同程度に変数 Y を改善する効果があるが、そのメカニズムは明らかになっていない。そこで心理療法 A の作用メカニズムを検証するために実験研究を行うことにした。心理療法 A は理論的には X に影響することで変数 Y を改善する、心理療法 B は X には影響しないため変数 Y の改善の程度は低いと予想された。

研究参加者は病院に通院中の患者の中から無作為に抽出し、それぞれの治療法に対して各 40 人の患者が研究参加者となった。研究参加者にはインフォームドコンセントを取り、十分な倫理的配慮を行なった。研究実施中に研究参加を取りやめた研究参加者がいたため、最終的に心理療法 A もしくは心理療法 B の治療を最後まで終えた研究参加者の人数は心理療法 A に 18 人、心理療法 B に 8 人であった。このため、治療を終えられた研究参加者のデータのみを用いて分析を行うことにした。なお、心理療法 A は経験年数 20 年のベテランの公認心理師によって各患者への治療が行われた。心理療法 B は経験年数 3 年の公認心理師が治療を担当した。心理療法 A と B の治療期間はそれぞれ 8 週間であり、患者の負担にも大きな差はない。

治療を開始する直前、治療開始から 4 週間後、治療直後に変数 X と変数 Y の測定を行った。変数 X を測定する心理尺度は過去 3 ヶ月間を振り返って回答する方式のものを用了。また、変数 Y は過去 2 週間を振り返って回答する心理尺度によって測定した。変数 X と Y の相関係数は過去の先行研究によっておよそ $r=0.8$ であることが明らかになっている。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 公認心理師養成プログラム 選抜区分 一般・社会人

科目名 専門試験 記載者氏名 上宮愛 村山恭朗 吉村晋平

解答例又は出題意図

問題 1

解答例：

思春期（青年期）のリスクテイキングは、その社会的背景や発生率において、成人のものと大きく異なる。無謀運転（Simons-Morton, Lerner & Singer, 2005）、薬物乱用（Chassin, Hussong & Beltran, 2009）、犯罪（Zimring, 1998）について調べた研究によって示されているように、青年期のリスクテイキングの特徴の 1 つは、成人に比べはるかにピアが同席する（居合わせる）状況下で起こりやすいということである。ピアが同席する場面で思春期（青年期）のリスクテイキングが相対的に生じやすくなることは、成人に比べ思春期（青年期）の方が友人と過ごす時間が長いという事実によって単純に説明できるかもしれない。しかし、近年の実証的なデータ（Gardner & Steinberg, 2005; O'Brien, Albert, Chein & Steinberg, in press）は、思春期（青年期）の意思決定は、単純にピアが同席しているという事実によって直接な影響を受けることを示している。例えば、Gardner & Steinberg (2005)は、運転シミュレーションを 1 人で行うか、友人 2 人と一緒に行くかの条件に、思春期（青年期）の少年、大学生、成人をランダムに割り当て、それぞれのリスクテイキングを調べた。その結果、成人に比べ、少年（および、少年ほどではないが大学生）において、仲間に観察された条件で、多くのリスクを取ることが示された。

問題 2

出題意図：

研究計画の策定、論文執筆の際には、国内外の論文を広く読む必要がある。とりわけ、臨床心理学領域の研究では国内知見は拙いため、インパクトのある研究の実施および論文の執筆を行うためには、国外の論文を読むスキルは必要不可欠である。本問題の意図はそのスキルを図ることにある。

問題 3

- (1) 自己一致
- (2) レスコラ - ワグナーモデル (Rescorla-Wagner model)
- (3) ノルアドレナリン (noradrenaline)

(4) ディスクレシア

(5) 共同注意

問題 4

出題意図:

公認心理師の主要な業務の一つは心理的アセスメントである。当該業務では、心理師による観察のほか、検査・尺度を用いて客観的なアセスメントを行う。そのため、適当な検査／尺度を選定するうえで、検査／尺度の信頼性・妥当性に関する知識は欠かせない。本設問は心理的アセスメント業務の基本と言っても過言ではない信頼性・妥当性の基本的知識を問う問題である。

問題 5

解答例:

(1)

言葉の遅れ、幼稚園で友達ができないこと、言語的な説明がうまく理解出来ない点などを考慮すると、自閉スペクトラム症の可能性が挙げられる。一方の、課題に集中して取り組めないという点は、現時点で ADHD を併存していると捉えるよりは、年齢による影響の可能性もあると考えられる。

(2)

3 歳児という年齢を考慮すると、実施できる知能検査、発達検査が限定される（例：WPPSI, k-abc, K 式など）。また、観察として、幼稚園に出向き集団の中での A の様子を観察する、保育士からも保育園での A の様子について聞き取りをするなど。

(3)

医療機関へのリファールを行い、自閉症スペクトラムに関する診断を受ける選択肢を母親に提示する。母親に対しては、孤立した状況を改善するための、親を対象とした療育支援プログラムや、市区町村で実施している「子育てサロン」への参加などを進める。

問題 6

解答例:

問題点 1:経験年数が大きく異なる公認心理師がそれぞれ異なる心理療法の治療者となっている。心理療法 A・B の差異は心理療法のメカニズムの差ではなく治療者の経験年数が要因になってしまう可能性がある。

改善方法 1:治療者の質を揃える、もしくは経験のある公認心理師と経験のない公認心理師にはどちらの心理療法も担当してもらい、かつそれぞれが担当する患者の数もおおよそ等しくする。

問題点 2:変数 X と変数 Y の相関が高いため、変数 X と変数 Y はほぼ同じ概念を測定していると考えられる。このため心理療法 A は変数 X と Y に同時に影響している可能性を排除できない。つまり、心理療法 A は変数 X を介して変数 Y に影響するという因果関係を実証すること

ができない。

改善方法 2:変数 X と変数 Y は質的および量的に明確に区別できる変数を設定する。

問題点 3:変数 X と変数 Y の測定において、過去の振り返り期間期間が大きく違う上に変数 X は治療開始前の時点まで含めて測定している。このために時間的ズレが生じており、変数 X が変数 Y の先行要因であると結論付けることが困難になる。

改善方法 3:変数 X と変数 Y の測定にはそれぞれ治療期間内に収まる範囲で回顧する形式の尺度を用いる。

問題点 4:治療法 A と治療法 B のサンプルサイズに大きな差がある。条件間のサンプルサイズに大きな差があると統計的検定における検出力が小さくなるため、有意確率を正確に計算することが難しくなる

改善方法 4:検出力が一定以上高くなるまでサンプルサイズを大きくすることを前提に研究計画を立てる。(必要に足りるまで、研究参加者を継ぎ足すのではない)

問題点 5:研究参加をとりやめた研究参加者のデータを分析から全て除いている。研究参加を取りやめた人のデータを取り除いてしまうと治療を完遂した研究参加者のデータには大きなバイアスが生じる可能性がある。このため、治療効果が過小評価もしくは過大評価される恐れがある。

改善方法 5:正しく治療効果を評価するためには研究参加を取りやめた研究参加者を含めたデータと除外したデータの両方を分析する。